

令和4年度 地方創生推進交付金・地方創生拠点整備交付金 活用事業について

1. 交付金の概要

【交付金の名称】

- ・地方創生推進交付金
- ・地方創生拠点整備交付金(施設整備等に係る事業)

【事業概要】

地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援するもの

【対象事業】

地方創生の深化の裾野を広げる取組

<具体例>

しごと創生(中小企業等の生産性向上、空き店舗対策、観光振興等)、地方への人の流れ(生涯活躍のまち、移住促進等)、働き方改革(若者雇用対策、ワークライフバランスの実現等)、まちづくり(小さな拠点等)

【資金の流れ】

国 ———— 交付金(1/2) ————> 地方公共団体

【事業実施数及び交付実績額】

採択事業 : 9事業

交付決定額 : 516,876,000円

(推進交付金 339,176,000円、拠点整備交付金 177,700,000千円)

2. 実績の評価

- ・PDCAサイクルにより事業を推進するため、毎年度、外部組織による効果検証を実施することとされている。

地方創生推進交付金及び地方創生拠点整備交付金事業報告書
(令和4年度実施分)

交付対象事業の名称(地方創生推進交付金事業)	担当課	頁
1 未来に羽ばたく若者定住促進プロジェクト	-	1
・就職支援事業	ふるさと産業振興課	
・子どもの就業体験支援事業	ふるさと産業振興課	
・小郡がつながる・つなげる交流促進事業	小郡総合支所 地域振興課	
・UJIターン就労支援事業	農山村づくり推進課	
・子ども芸術体感事業	学校教育課	
・雇用対策事業	ふるさと産業振興課	
・就労の場と雇用を確保する事業承継支援事業	ふるさと産業振興課	
・市内企業のDX促進事業	ふるさと産業振興課	
・人材確保企業重点支援事業	ふるさと産業振興課	
・シティセールス推進事業	企画経営課	
2 域外から稼ぐ力を生み出す「新たな産業・交流拠点」づくり推進事業	-	6
・産業交流拠点施設管理運営事業	ふるさと産業振興課	
・産業交流スペース管理運営事業	ふるさと産業振興課	
・デジタル技術活用・人材育成事業	ふるさと産業振興課	
・新たなモビリティサービス調査・実証事業	交通政策課	
・シェアサイクル実証事業	交通政策課	
3 次世代へつなぐ商店街づくり加速化プロジェクト	-	10
・中心市街地維持・再生支援事業	中心市街地活性化推進室	
・中心商店街稼ぐ力向上支援事業	中心市街地活性化推進室	
・中心商店街情報発信事業	中心市街地活性化推進室	
・多様性あふれる商店街推進事業	中心市街地活性化推進室	
・まちなかクリエイティブフィールド事業	中心市街地活性化推進室	
・ヤマグチブランド創出事業	中心市街地活性化推進室	
・まちなか起業創業促進事業	中心市街地活性化推進室	
・中心商店街賑わい創出事業	中心市街地活性化推進室	
4 人生100年時代を楽しむ21の幸せ地域拠点づくり ～Jリーグクラブ「レノファ山口」のつなぐ力でスマート”ライフ”シティづくり～	-	13
・地域と企業をつなぐ公民連携プラットフォームの構築	湯田温泉パーク整備推進室	
・レノファ山口PV開催等による全世代交流事業の実施	湯田温泉パーク整備推進室	
・企業と連携した健康づくり事業の実施	湯田温泉パーク整備推進室	
・21地域ご当地レノ丸作成を通じた地域への愛着の醸成	湯田温泉パーク整備推進室	
5 女性活躍推進を軸とした誰もが輝ける多様な職場づくり重点プロジェクト	-	17
・女性人材の掘り起こし、女性が輝き活躍できる場を創出	ふるさと産業振興課	
・多様な働く場の創出によるインクルーシブな社会の実現	ふるさと産業振興課	
・働き方改革やデジタル化を契機とした柔軟な働き方促進と企業の生産性向上	ふるさと産業振興課	
6 関係人口の創出による農山漁村エリア活性化プロジェクト	-	23
・地域資源を活用した交流人口の拡大	農山村づくり推進課	
・関係人口の創出、移住定住の取組による持続可能な農山村エリアの形成	農山村づくり推進課	
・農林水産業の振興	農業振興課	
7 「山口ゆめ回廊」観光を基軸とした交流価値共創プロジェクト ～観光交流から移住・定住へ～	-	28
・新しい生活様式や行動様式等社会変化に対応した持続可能な新たな交流の創造	観光交流課	
・住んでよし、訪れてよしの観光地域づくりを通じた多様な交流創造事業	観光交流課	
・インバウンド誘客から創出する「まちの賑わい」創出事業	観光交流課	
8 多様な主体が連携した「やまぐち創生テレワーク」×「山口型ワーケーション」× 「地域づくり」の広域的・一体的な推進による移住・還流促進事業	-	38
・地域資源を活かしたワーケーションプログラムの開発・商品化	農山村づくり推進課 観光交流課	
交付対象事業の名称(地方創生拠点整備交付金事業)	担当課	頁
1 阿知須地域活性化プロジェクト「道の駅きららあじす」整備計画	-	44
・道の駅「きらら あじす」機能強化推進事業	阿知須総合支所地域振興課	

■評価対象事業一覧

	交付金の名称	交付対象事業の名称	事業の概要(令和4年度)	総事業費(円)	交付決定額(円)
1	地方創生 推進交付金	未来に羽ばたく若者定住促進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・職業理解・企業見学フェアの開催、大学生向け地元企業の動画作成・情報発信 ・小学生対象の職業体験イベントの開催、大学生等を対象とした企業訪問ツアーの開催 ・圏域内中小企業の課題対応のための合同セミナー開催や専門家派遣、圏域の支援プラットフォームの構築・運営、支援コーディネーターの配置 ・戦略的なシティセールスの要素を含めた情報誌の発行 	75,421,984	41,550,000
2		域外から稼ぐ力を生み出す「新たな産業・交流拠点」づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代型スマートホールの運営(スマートホールの特性を生かしたMICE等の支援) ・産業交流スペースを活用した起業・創業支援、中小企業支援(DX導入、事業承継、新事業創出の促進) ・AI技術等の活用によるヘルスケア関連産業創出事業に係る県への負担金(「やまぐちヘルスケア関連産業推進協議会」の運営) ・アカデミーハウス次世代人材育成推進事業(人材育成プログラムの実施) ・新たなモビリティサービス調査・実証事業 	153,999,804	73,593,000
3		次世代へつなぐ商店街づくり加速化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・中心商店街の店舗の連続性の確保に向けて、商店街組織が遊休不動産を買い取り、店舗としてサブリースして運営する事業に対して、取得費の一部を支援 ・中心商店街の事業者を対象とした「稼ぐ力」の向上につながるセミナー等の開催 ・中心商店街内の空きスペースを活用した地域の特産品等の情報発信や子ども向けのイベント等の実施 ・中心商店街での「創業体験」が可能なチャレンジショップの開設 ・新たな来街者を呼び込むための情報発信やイベント開催への支援 	79,819,442	58,231,000
4		人生100年時代を楽しむ21の幸せ地域拠点づくり ～Jリーグクラブ「レノファ山口」のつなぐ力でスマート”ライフ”シティづくり～	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と企業をつなぐ公民連携プラットフォームの運営 ・プロスポーツの集客力等を生かした全世代交流事業の実施 ・市民参加による地域の愛着醸成に寄与する事業及び情報発信 ・企業と連携した市民の健康づくり事業の実施 	20,000,000	10,000,000
5		女性活躍推進を軸とした誰もが輝ける多様な環境づくり重点プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・女性従業員・未就労者向けのセミナーの実施や、女性活躍応援サイトの構築 ・企業向けの採用セミナーや、離職者・就職氷河期世代・高齢者世代向けセミナーの実施、マッチング面談会の実施 ・女性の採用・活躍を推進する事業者への支援や、従業員スキルアップのための研修等への支援 ・中小企業の採用に係る情報発信のサイト構築への支援 ・企業向けの働き方改革推進セミナーや、外国人労働者受入セミナー、障がい者雇用促進セミナーの実施 	13,367,132	7,350,000
6		関係人口の創出による農山漁村エリア活性化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産物の販売イベントの定期的な開催や、周辺市町を含む道の駅の周遊促進イベントの開催 ・雇用の創出や経済効果の創出に向けて、農山村エリアにおける起業・創業や新規事業開拓への支援 ・関係案内人の育成や地域の関わりしるにふれる体験プログラムの開催 ・移住定住の促進に向けて、移住フェアや、ウェブサイト、SNSでの情報発信や、ガイドブックの作成 ・農業経営の効率化や生産性向上に向けて、スマート農機導入の支援や、大学と連携した実証実験の実施 	110,394,442	57,467,000
7		「山口ゆめ回廊」観光を基軸とした交流価値共創プロジェクト ～観光交流から移住・定住へ～	<ul style="list-style-type: none"> ・山口県央連携都市圏域7市町で連携した、圏域の周遊促進の取組や、一体的な情報発信の実施 ・MICE等の誘致推進や、山口宇部空港と湯田温泉をつなぐ乗合タクシーの実証事業の実施 ・地域伝統芸能全国大会の開催や、大学と連携した観光アンバサダーを活用した情報発信、1日周遊乗車券の販売 ・インバウンド誘客に向けた情報発信や、地域資源を活用したイベントの開催、地域通訳案内士の活用 	131,346,223	84,985,000
7		多様な主体が連携した「やまぐち創生テレワーク」×「山口型ワーケーション」×「地域づくり」の広域的・一体的な推進による移住・還流促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・移住促進や関係人口創出に向けたオーダーメイド型のワーケーションプログラムの実施 ・湯田温泉の更なる誘客促進に向けた民間事業者の商品造成やプロモーションへの支援 	8,531,026	6,000,000
合 計				592,880,053	339,176,000
1	地方創生 拠点整備交付金	阿知須地域活性化プロジェクト「道の駅きららあじす」整備計画	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅「きらら あじす」について、レストラン棟の増築や、農産物・特産品直売所の売り場面積拡大、カフェ機能を備えた休憩コーナー新設などの整備を実施 ・きらら浜全体を会場に、「スポーツ・食・遊び」をテーマとして、きらら浜の各施設が連携したイベント「きららにぎわいフェスティバル」を開催 	322,648,200	177,700,000
合 計				322,648,200	177,700,000

未来に羽ばたく若者定住促進プロジェクト

1 事業の概要

所管課	商工振興部ふるさと産業振興課	計画期間	令和2年4月 - 令和5年3月
交付金の種類	地方創生推進交付金	単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)
政策目標	誰もが安心して働くことのできる「しごと」をつくる	政策目標	
具体的な施策	産業活力・地域雇用を創出する「働く・起業なら山口」	具体的な施策	
具体的な取組	サービス業・商工業の多様な雇用の場づくり	具体的な取組	
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>山口県央連携都市圏域の学生を対象とした就職フェア等の開催や、県外に進学・就職した学生等への地元企業の情報発信、圏域内の地元企業の魅力を知ってもらうためのイベントを開催することで、地元就職意識の醸成・定着を図る。</p> <p>また、中小企業の事業承継等による就労の受け皿・環境づくりとして、圏域内中小企業の合同セミナーの開催や専門家派遣、圏域の支援プラットフォームの構築・運営等を行う。</p> <p>さらに、企業の魅力や仕事のやりがい、地方での豊かな暮らしを情報発信することで、若者の定住を促進する。</p>		<p>(1) 地元学生への職業観の醸成や地元就職意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業理解・企業見学フェアの開催、大学生向け地元企業の動画作成と発信、小学生対象の職業体験イベントの開催 ・若者に地域活動やまちづくり活動への参加を促進する事業の実施 ・大学生等を対象として、就業環境の見学や先輩職員と交流を図る企業訪問バスツアーの実施 ・メディア芸術を中心とした職業観の醸成 ・入社後3年以内の若手社員を対象としたセミナーの開催や、企業全体のボトムアップを図るための経営者やメンター向けセミナーの開催 <p>(2) 中小企業の事業承継等により就労の受け皿づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の中小企業の「後継者不足」「人材不足」の課題に対応するための合同セミナー開催や専門家派遣、圏域の支援プラットフォームの構築・運営、専門支援コーディネーターの配置 ・市内企業の経営基盤強化や磨き上げを目的としたDX化を促進するためのセミナー開催及び専門家派遣の実施 <p>(3) 企業の魅力や仕事のやりがい、地方での豊かな暮らしを情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の暮らしやすさや魅力をわかりやすく伝え、新たに戦略的なシティセールスの要素を含めた情報誌の発行(紙媒体及びweb版での作成) ・大学生に市広報番組等の企画・制作に参加していただき、若者目線で本市の魅力を発見し、市内外へ情報を発信する事業の実施 	
事業の概要(経費内訳)			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援事業(32,000千円) ・子どもの就業体験支援事業(25,000千円) ・小郡がつながる・つなげる交流促進事業(2,987千円) ・UJIターン就労支援事業(596千円) ・子ども芸術体感事業(1,119千円) ・雇用対策事業(1,000千円) ・就労の場と雇用を確保する事業承継支援事業(3,318千円) ・市内企業のDX促進事業(5,000千円) ・シティセールス推進事業(4,390千円) 			

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1) KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和3年度)	実績値(増分) (令和4年度)	目標値(増分) (令和4年度)
①	就職フェア等の参加者アンケートでの地元企業に就職したい割合(「就職したい」「検討したい」等の肯定的な項目を選択した人数/回答人数)	%	0	1	0	20
②	事業承継・DX化に係る支援件数	件	0	15	0	40
③	「若年UJIターン者移転補助金」交付件数の累計	件	5	0	0	12
④	市内4大学等(山口大学、山口県立大学、山口学芸大学、山口芸術短期大学)の県内就職率	%	36	3.0	1.0	5

(2) 評価

本事業の実施状況について		
事業効果	本事業は地方創生に効果があった。	理由 KPIの達成状況では、目標値を下回ったが、本事業において、若者への地元企業や職業を知る機会の提供・魅力の発信、企業に対する就労の受け皿づくりの支援を通じて、若い世代に地元就職の選択肢を一定程度与え、若者の定住促進に向けた機運の醸成につながった。
実績値を踏まえた事業の今後について		
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由 若い世代への地元就職に向けた機運の醸成が図られるとともに、コロナ禍における若者の地方移住への関心の高まりや、実際に人口流出抑制の効果が見えるには相当期間を要することを踏まえ、引き続き、継続的な取組を進めていく必要がある。

未来に羽ばたく若者定住促進プロジェクトの概要

<地元学生の職業観の醸成や地元就職意識の向上>

●就職支援事業

・中高生向け職業理解・仕事体験イベント「やまぐち未来のしごとフェスタ」開催

山口市内を中心とした連携都市圏域内の中高生等を対象に、魅力ある地元企業の仕事を体験できる機会を提供することで、中高生に働くことの意義を感じてもらうとともに、将来的な地元就職意識の醸成を図ることを目的とした企業集合型職業体験イベントを開催した。また、企業で働く「人」「未来(ゆめ)」をテーマにした仕事紹介動画をウェブページ上で公開するオンライン開催もあわせて実施したことで、より多くの企業・学生に参加を促した。

【会場開催】

開催日時:令和4年10月4日・5日 9:30~16:30

出展企業数:45の連携都市圏域内企業及び業界団体

参加学校数:市内中学校19校、市内高校1校、防府市中学校9校
美祢市内中学校1校

来場者数:3,074名(2日間計)

【オンライン開催】

開催期間:令和4年8月29日~12月31日

出展企業数:61の連携都市圏域内企業及び業界団体



・大学生向け web 説明会・情報発信動画の作成

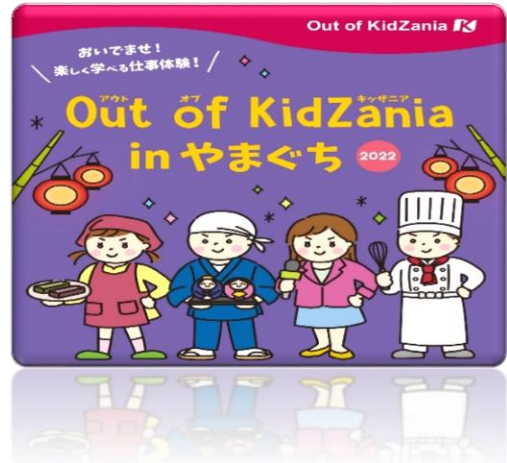
県外に進学・就職した学生等へ地元企業の情報を発信するため、企業紹介動画と仕事体験動画を作成し、YouTube や「やまぐちしごと応援サイト」へ掲載し、県内外問わず幅広く若者の地元就職意識の醸成を図った。

【作成動画数】15社

●子どもの職業体験支援事業

・小学生向け職業体験イベント「Out of KidZania in やまぐち2022」開催

子ども達にとっては未来を生き抜く力を育むこと、また、出展企業にとっては事業承継・おもてなし力の向上につなげてもらうことを通じて、地域の賑わい創出や交流人口の拡大による地域経済への効果の波及を目指し、小学生を対象に、普段なかなか知ることのできない地元企業の職業体験イベントを開催した。



【出展事業者数】30社(33プログラム)

【来場者数】2日間延べ2,510人

(参加者1,141名+保護者1,369名)

【宿泊を伴うプログラム利用者数】2日間延べ100人(36組)

【専用通貨利用額】193,000円(90.3%)



●若者に地域活動やまちづくり活動への参加・参加を促進する事業の実施

・実行委員会への事業支援

小郡地域ふるさとにぎわい計画「小郡がつながる・つなげるプロジェクト」として新山口駅を中心とした一帯を活用し、多様な交流促進を目的とする実行委員会に対し事業支援を行った。

本事業の活動主体となる実行委員会は、小郡地域内の大学・専門学校の学生、団体、及び市内企業で構成され、令和4年10月に「あやかし祭～夢と現(うつつ)の幻想郷～」、令和5年2月に「小郡つながりふれあいフェア」を開催した。

【実行委員会構成団体数】14団体

【総会・実行委員会の開催数】5回

【イベントの開催】2回



●UJIターン就労支援事業

・大学生等を対象とした企業訪問ツアーの開催

就職を目前に控えた大学生等を対象に山口県央連携都市圏内の企業を見学できるバスツアーを開催した。

【見学企業】6社

【参加人数】13名



●山口情報芸術センター(YCAM)学校連携事業

・YCAM教育コンテンツによる学校教育の充実

児童生徒がテクノロジーに興味・関心を持つきっかけ作りとして、地域資源としてのYCAMを訪問する「YCAM 校外学習ツアー」を実施した。

【YCAM校外学習ツアー実施回数】11回

●雇用対策事業

・職場定着支援セミナーや働き方改革に取り組む企業の紹介・情報発信

職場定着支援セミナーでは、入社後3年以内の若手社員の離職率が高いという課題に対し、地元企業への定着率を上げるとともに、将来の地域を担う若手社員の人材育成を図るため、経営者向け、若手社員向け、入社3年以内の社員向け研修を実施した。

【開催回数】4回(社員～経営者、メンター向け研修)

【参加人数】73名

<中小企業の事業承継等による就労の受け皿づくり>

●事業承継・人材確保

・企業に対する事業承継への支援や人材確保セミナーの開催

事業承継支援事業では、山口市事業承継支援協議会として中小企業支援機関の連携により、市内の事業承継を促進し、後継者不足の改善や事業承継支援事業計画策定等支援メニューの活用促進、支援機関向けの研修会や事業者向けのセミナーを開催した。

【活動実績】専門家派遣 5件

事業承継に関する対面ヒアリング 84件

【セミナー開催回数】事業承継:1回

【セミナー参加人数】事業承継:64名

●市内企業のDX化促進事業

・市内企業のDX活用を促進するためのセミナー開催や専門家派遣

山口県央連携都市圏域の中小企業・小規模事業者・市内創業予定者を対象として、DXを促進するためのセミナーや相談会の開催及び専門家派遣を実施した。デジタルツールの紹介といった基本的な内容から、各事業者の状況に応じた個別対応まで、幅広く継続的に支援を実施し、企業の経営基盤強化や磨き上げに寄与した。

【活動実績】窓口相談 43 事業者 専門家派遣 21 事業者
セミナー開催回数 6回
セミナー参加人数 140 名（アーカイブ配信視聴含む）



<企業の魅力や仕事のやりがい、地方での豊かな暮らしを情報発信>

●シティセールス推進事業

・情報誌「彩都山口」の製作

地域の魅力や資源を収集し、市内外に対し、本市や周辺自治体のイメージを効果的に発信することにより、多くの方が山口市や周辺自治体を訪れ、交流による新たな賑わいと消費を創出することを目指すとともに、山口市のブランド力の向上や定住人口の増加を目指し、マンガやイラストを多用するなど小学生の興味を引く工夫を凝らした「情報誌を制作・発行した。



【制作部数】 17,500部

【配布先】

- (1) 市内を中心とした県内の公共施設、観光施設、観光案内所、医療機関(小児科)等
- (2) 県内及び近県の道の駅、おいでませ山口館等
- (3) 市外在住の市出身者(山口七夕会)やふるさとやまぐち寄附金実施者等
- (4) 市内小学校等5・6年生

域外から稼ぐ力を生み出す「新たな産業・交流拠点」づくり推進事業

1 事業の概要

所管課	商工振興部ふるさと産業振興課	計画期間	令和2年4月 - 令和7年3月
交付金の種類	地方創生推進交付金	単独事業と 広域事業の別	広域 (山口県、山口市、萩市、長門市)
政策目標	地域の特性に応じた持続可能な都市圏・生活圏の形成	政策目標	山口の魅力に磨きをかけ、新たな「ひと」の流れをつくる
具体的な施策	将来を担う子どもたちを育む「教育・子育てなら山口」	具体的な施策	山口の個性を高め暮らしを楽しむ「文化・観光・スポーツなら山口」
具体的な取組	高次の都市機能の集積や提供	具体的な取組	おいでませ山口・観光地域づくり
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>令和3年度に供用開始した山口市産業交流拠点施設を核に、交流人口の拡大、ヘルスケア・モビリティサービスなどの新産業の創出やDX導入促進などの産業支援機能強化、人材育成などの取り組みを一体的に進めることにより、拠点施設のイメージアップ、利用促進などを通じて、地域のブランド力の向上を図るとともに、新産業の創出を通じて、若者・女性に魅力あるサービス分野での雇用の場の創出を図る。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ■次世代型スマートホール(=多目的ホール)の運営 ・スマートホールの特性を生かしたMICE等の開催を支援 ■産業交流スペースによる5G等未来技術の活用支援及びDX導入促進を 目指した産業支援の機能強化 ・産業交流スペースにおいて、起業・創業支援や中小企業支援、DX導入支 援等を実施 ・デジタル人材の発掘や育成等を実施 ■AI技術等の活用によるヘルスケア関連産業創出事業(県への負担金) ・「やまぐちヘルスケア関連産業推進協議会」の運営 ・「やまぐちヘルスロボ」を設置し、企業が行うヘルスケア関連製品・サービ スの事業化を支援 ・令和3年度に引き続き、島津製作所等6者合意に基づく地域コホート研究 事業を実施(阿知須地域) ■アカデミーハウス次世代人材育成推進事業 ・哲学ベース時間共有型キャリア開発「P.C.Tプログラム」を実施 ■新たなモビリティサービス調査・実証事業 ・新たなモビリティサービスの需要の検証及び実証実験を実施 	
事業の概要(経費内訳)			
<ul style="list-style-type: none"> ・次世代型スマートホール(=多目的ホール)の特性を生かした MICE等の開催を支援(4,683千円) ・産業交流スペースによる5G等未来技術の活用支援及びDX導入 促進を目指した産業支援の機能強化(57,842千円) ・AI技術等の活用によるヘルスケア関連産業創出事業(18,833 千円) ・アカデミーハウス次世代人材育成推進事業(26,617千円) ・新たなモビリティサービス調査・実証事業等(30,566千円) 			

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1) KPIの達成状況

KPI項目	単位	事業開始前	実績値(増分) (令和3年度)	実績値(増分) (令和4年度)	目標値(増分) (令和4年度)
① 本取組等の効果による事業化件数	件	0	4	15	11
② 施設利用者数(年間) ※次世代型スマートホール、ライフィノベーションラボ、アカデミーハウス等	人	0	262,426	348,844	357,000
③ 本取組等による実証事業の実施件数(ヘルスケア関連産業創出事業)	件	0	1	1	3
④ 本取組等による実証事業の実施件数(新たなモビリティサービス調査・実証事業)	件	0	3	5	3

(2) 評価

本事業の実施状況について	
事業効果	<p>本事業は地方創生に相当程度効果があった。</p> <p>理由</p> <p>産業交流拠点施設は、開館2年目を迎え、施設を起点とした新たなにぎわいの創出や産業の創出の拡大につながっている。 また、新たなモビリティサービスについては、観光時のみならず、日常生活の移動の選択肢が広がり、一定程度の市内回遊が促された。</p>
実績値を踏まえた事業の今後について	
今後の方針	<p>事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。</p> <p>理由</p> <p>産業交流拠点施設は、産業と交流をキーワードにした様々な機能で構成される施設であり、施設利用者の更なる獲得、長期的な視点での新たな施設需要の拡大等に着実につなげる取組を実施することで、新たな産業・雇用の創出につながるとともに、交流人口の増大などによる地域経済の更なる活性化を図るため。</p>

【令和4年度取組実績】

域外から稼ぐ力を生み出す「新たな産業・交流拠点」づくり推進事業

【次世代型スマートホール(=多目的ホール)の運営】

●広域県央中核都市の実現に向け、県の陸の玄関口にふさわしい「山口県ナンバーワンのビジネス拠点」の形成を図るため、「産業」「にぎわい」「生活文化」の3つの創造の視点により整備した「山口市産業交流拠点施設」の管理運営。

●スマートホールの特性を生かした MICE 等の開催を支援

＜開催を支援した主な催事＞

- ・令和4年5月12日～13日 第72回全国都市教育長協議会定期総会
- ・令和4年10月13日～14日 第71回農村医学会学術総会
- ・令和4年10月20日 第58回全国不動産会議山口県大会
- ・令和4年11月18日 第61回電話対応コンクール全国大会
- ・令和4年12月10日～11日 第118回日本消化器病学会／
第129回日本消化器内視鏡学会
- ・令和5年3月16日～18日 日本農業気象学会2023年全国大会



【産業交流スペースによる5G等未来技術の活用支援及びDX導入促進を目指した産業支援の機能強化】

●山口市産業交流拠点施設内に設置した「産業交流スペース」の管理運営。起業・創業支援や中小企業支援を実施し、DX導入による生産性向上や事業承継、新事業創出の促進を図った。

●デジタル技術の活用や人材ネットワークの形成を目的として、企業や大学、エンジニアなどのデジタル人材の発掘や育成、さらには、こうした人材が活躍する環境づくりとして、外需獲得及び内需喚起の取り組みを行い、仕事の創出を図った。



山口市 デジタル人材育成・DX促進事業
事業報告会 ハイブリッド開催
 2023年
3月23日 木
 13:00～15:00
 産業交流スペース Megriba (JR新山口駅直結 KDDI維新ホール1階)
 参加費無料 Megribaコミュニティラウンジ&オンライン同時開催



【AI技術等の活用によるヘルスケア関連産業創出事業】(山口県への負担金)

●県内におけるヘルスケア関連産業の創出・育成の推進母体として産学公で構成される、「やまぐちヘルスケア関連産推進協議会」の運営を行った。

●企業が行うヘルスケア関連製品・サービスの事業化支援を行う「やまぐちヘルスラボ」において、相談対応(新規相談8事業者、継続相談20件以上)やモニター実証支援(1件)、イベント開催(4回)を行った。

●令和3年度に引き続き、島津製作所等6者合意に基づく地域コホート研究事業を阿知須地域において実施した。

やまぐちヘルスラボ × 森永乳業株式会社
 令和4年度やまぐちヘルスラボ実証事業
食品モニター募集 応募締切 7月15日
 BMIへの影響に関する食品モニターを募集します

募集の目的
 生活習慣病の予防や健康維持の観点から、食生活の改善や健康増進の観点から、BMI(体格指数)の低下(増進)の改善に役立つ効果があるかどうかを明らかにすることを目的に実施します。

モニター調査の内容

- 9月から12月までの12週間、調査用の粉末食品を毎日摂取していただきます(1日1回)
- 調査期間中、毎日ご自身の体重などを毎日記録していただきます(1日1回)
- 調査期間中(10月11日、12月)に、年2回健康診断・採血等を行います。健康診断は10,000円、採血は5,000円(いずれも調査費として負担いたします)
- 全ての項目にご協力いただいた方には、終了時に15,000円相当の贈礼をお送りします。

クオカード10,000円+カタログギフト

参加条件

- 山口県にお住まいの20歳以上65歳未満の方(2022年8月1日時点)
- やまぐちヘルスラボが会員の方、会員登録もしていただける方
- BMIが25以上30未満の方

募りにくい方

- 生活習慣病などの既往のある方
- 食物や薬物のアレルギーがある方
- 妊娠中の方
- 喫煙者の方
- 重度な生活習慣病(糖尿病など)の方

※生活習慣病やアレルギーのある方は、医師の診断を仰ぐ必要があります。また、アレルギーのある方は、アレルギーの発症や悪化の恐れがあります。アレルギーのある方は、アレルギーの発症や悪化の恐れがあります。アレルギーのある方は、アレルギーの発症や悪化の恐れがあります。

やまぐちヘルスラボ YAMAGUCHI HEALTH LAB
 〒750-0852 山口県山口市阿知須 083-976-4095
 〒750-0852 山口県山口市阿知須 083-976-4102

【アカデミーハウス次世代人材育成推進事業】

●哲学をベースとした時間共有型のキャリア開発「P. C. Tプログラム」としてPBLプログラムやキャリアデザイン、哲学カフェ、スマートキャリアサロン等を実施。



【新たなモビリティサービス調査・実証事業】 (別紙)

令和4年度 新たなモビリティサービス調査・実証事業



事業概要

- 新モビリティサービス実証事業推進協議会(24団体)の運営
- やまぐちMaaS用Webアプリ「ぶらやま」の機能拡充(操作性、デザイン性)
- 新たなビジネスモデルの構築(移動サービスと多様なサービスとの組合せ)
- 実証実験の実施 対象エリア:新山口駅~山口・萩・長門・宇部・美祢エリア
実験期間:令和4年4月~令和5年3月末まで
- 交通機関等の利用状況調査(アンケート等)及び実験後の効果検証

令和4年度 新たなモビリティサービスの実証事業



実証期間 令和4年4月1日~令和5年3月31日

長門

【新山口駅・長門間】
ジャンボタクシー直行便乗車券デジタルチケットの販売
【山口宇部空港・美祢・長門間】
ジャンボタクシー直通便の運行及び乗車券デジタルチケットの販売
【市街地】
電動バイクのレンタル(3台)

萩

【新山口駅・萩間】
スーパーはぎ号バス乗車券デジタルチケットの販売
【市街地】
萩トラベルバス(特定店舗の割引)の販売
萩循環まあるバス乗車券デジタルチケットの販売

[R4新規] 美祢

【山口宇部空港・美祢・長門間】
ジャンボタクシー直通便の運行及び乗車券デジタルチケットの販売(長門エリアと同運行)
【秋吉台観光交流センター・於福駅間】
かるすとタクシー乗車券デジタルチケットの販売



[R4新規] 宇部

【新山口駅・山口宇部空港・宇部新川の間】
山口宇部空港連絡バス等乗車券デジタルチケットの販売
【市街地】
1日バス乗車券デジタルチケットの販売

山口

【新山口駅・湯田温泉間及び市街地】
山口市内防長バスのる得きっぷLightwebデジタルチケットの販売
ゆけむり手形Web(特定店舗の割引)の販売
山口・秋芳フリーきっぷデジタルチケットの販売
電動バイクのレンタル(3台)
各種イベントと連携したデジタルチケットの販売(KDDI維新ホールのイベント・レノファ山口との連携)
各種特典付きデジタルチケットの販売
シェアサイクルとの連携(市事業)
カーシェアとの連携(民間事業)

	令和4年度
サービス提供数	56種
アカウント登録数(累計)	6,109人
デジタルチケット販売枚数	4,804枚
閲覧ユーザー数	41,786
超小型モビリティ利用件数	R4.4.27より民間事業化
電動バイク利用件数	124件 (山口 103件 長門 21件)

① デジタルチケットの販売

- ・バス事業者デジタルチケットの販売(のる得きっぷ、山口・秋芳フリーきっぷ)
- ・レノファ山口と連携したデジタルチケットの販売
- ・KDDI維新ホールや市内イベント(湯田温泉、中心商店街)と連携したデジタルチケットの販売

② 電動バイクのレンタル

乗車定員:1名
最高速度:30km/h
一充電走行距離:約30km
(利用条件により異なる)
※配置:山口観光案内所(3台)



③ シェアサイクルとの連携

- ・「ぶらやま」の経路検索とアプリケーションの連携



複合経路検索(電車やバスだけでなく、シェアサイクルなど様々なモビリティを使った経路検索)

アプリケーションの連携

次世代へつなぐ商店街づくり加速化プロジェクト

1 事業の概要

所管課	商工振興部中心市街地活性化推進室	計画期間	令和3年4月 - 令和8年3月
交付金の種類	地方創生推進交付金	単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)
政策目標	地域の特性に応じた持続可能な都市圏・生活圏の形成	政策目標	
具体的な施策	魅力あふれる県都づくり「広域県央中核都市づくり」	具体的な施策	
具体的な取組	高次の都市機能の集積や提供	具体的な取組	
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>(1)既存ストックを活用したまちの再生 まちづくり事業者が商店街関係者等と連携し、遊休不動産の再生を進め効果的にエリア価値の向上を図る。</p> <p>(2)求心力のある商業・業務エリアの形成による生産性の向上 デジタル技術の活用等とともに、中心商店街全体の生産性を向上を図り経済基盤を強化する。</p> <p>(3)中心商店街の新たな価値創出によるまちの活性化 商業活動に限らない多様な活動の支援を通じ、中心商店街を「豊かな生活を支える場」としてゆくことで、新たな需要や来街者を生み出し、恒常的な賑わいの創出と回遊性の向上を図る。</p>		<p>(1)既存ストックを活用したまちの再生 ・店舗の連続性の確保に向けて、商店街組織がマンションの1階部分を商業床として買い取り、賑わいの創出に資する店舗としてサブリースして運営する事業に対して、取得費の一部を補助した。</p> <p>(2)求心力のある商業・業務エリアの形成による生産性の向上 ・「稼ぐ力」の向上につながる勉強会やセミナー等開催した。また、中心市街地活性化に関する取組について、広報紙の発行やwebサイト、SNS等により、広く市民に情報発信を行った。</p> <p>(3)中心商店街の新たな価値創出によるまちの活性化 ・山口井筒屋2階に地域の魅力発信・交流スペース「コトサイト」を運営し、市内の魅力ある特産品の販売・情報発信や、主に子ども向けのイベントやアクティビティの提供を行った。</p> <p>・VIVISTOP in YAMAGUCHIの運営を通じて、中心商店街全体を活動のフィールドとし、子ども達がものづくりを通じて地域とつながる活動を行った。</p> <p>・新たなヤマグチブランド創出のための取組に対する支援を行った。</p> <p>・中心商店街に「創業」を体験できるチャレンジショップを開設した。</p> <p>・新たな来街者を呼び込むためのイベント開催や情報発信、中心商店街におけるイベント等に対する支援を行った。</p>	
事業の概要(経費内訳)			
<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地維持・再生支援事業 23,381千円 ・中心商店街稼ぐ力向上支援事業 737千円 ・中心商店街情報発信事業 2,012千円 ・多様な魅力あふれる商店街推進事業 20,000千円 ・まちなかクリエイティブフィールド事業 17,800千円 ・ヤマグチブランド創出事業 2,484千円 ・まちなか起業創業促進事業 5,504千円 ・中心商店街賑わい創出事業 9,677千円 			

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1)KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和3年度)	実績値(増分) (令和4年度)	目標値(増分) (令和4年度)
①	中心商店街に新規出店した店舗の1日当たりの平均来店者数合計	人	0	512	850	432
②	中心商店街の来街者数(平日・イベントのない休日平均)	人	34,700	-4,144	-4,693	520
③	商店街滞在時間(1時間30分)以上の割合	%	39.8	-17	-10	1.7

(2)評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に効果があった。	理由	新型コロナウイルス感染症の影響による外出規制などの行動制限がなかったものの、外出を差し控える心理的要因がうかがえた。 一方で、市内への買い物客の回帰傾向が強く見られた中で、タウンマネージャーによる空き店舗対策が順調で、新規出店の意欲も引き続き高い状況であり、魅力的な新規店舗の集客力によってKPIも一部達成することができた。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	中心商店街活性化に向けた取組については、効果の発現に時間を要するため、一過性の取組にならないように、積み重ねと発展が求められるため。

次世代へつなぐ商店街づくり加速化プロジェクトの概要

(1)既存ストックを活用したまちの再生

①中心市街地維持・再生支援事業

店舗の連続性の確保に向けて、商店街組織がマンションの1階部分を商業床として買い取り、賑わいの創出に資する店舗としてサブリースして運営する事業に対して、取得費の一部を支援しました。



(写真は R5 年度に店舗決定後のもの)

(2)求心力のある商業・業務エリアの形成による生産性の向上

①中心商店街稼ぐ力向上支援事業

中心商店街全体の「稼ぐ力」の向上に向けて、店舗向けのディスプレイ・レイアウトセミナーや、繁盛店創出プロジェクトとして、実際の店舗改善を実施しました。

・店舗改善セミナー

～客動線の考え方と陳列・ディスプレイの基本～

【日 時】令和4年6月8日(水)

【会 場】参加店現地

【参加者】4店舗



②中心商店街情報発信事業

情報誌『くるーニャッ!やまぐち』の発行や web サイト、SNS 等により、中心市街地における市の事業や新規オープンした店舗等に関する情報を発信しました。



(3)中心商店街の新たな価値創出によるまちの活性化

①多様性あふれる商店街推進事業

山口井筒屋2階の地域の魅力発信・交流スペース「コトサイト」を運営しました。常時300冊の絵本や、市内産の木育玩具で遊ぶことができ、約60坪の人工芝の広場では、下記のとおり多彩なイベントを行いました。また、地域の魅力発信コーナーでは、山口市内を中心とした特色ある商品の展示・販売を行いました。

○事業実施スペースの賃貸・改修、設備設置等

○施設運営およびイベント等の実施

- ・赤ちゃんハイハイレース
- ・ママ叶
- ・エヴァンゲリオンストア(庵野秀明展連動企画)
- ・コトもの体験会
- ・コトサイト塾



②まちなかクリエイティブフィールド事業

道場門前の VIVISTOP in YAMAGUCHI において、中心商店街全体を活動のフィールドとし、子ども達がものづくりを通じて地域とつながる活動を行いました。



③ヤマグチブランド創出事業

新たなヤマグチブランド創出のため、商工会議所が主催する Chocofuror Yamaguchi! チョコレートイベントへの補助金を交付しました。補助金を活用して、山口井筒屋5階でのチョコレート物産イベント、中心商店街のチョコレート模様のペナントによる装飾、チョコレートワークショップの開催や商品情報 MAP の作成等が行われました。



④まちなか起業創業促進事業

中心商店街の mirai365 内に、まちなか起業に向けて若い創業者等が集い繋がる場、また「起業」を体験できるチャレンジショップを開設しました。

⑤中心商店街賑わい創出事業

新たな来街者を呼び込み商店街全体の集客に結びつけるため、百貨店や高等学校等と連携し、にぎわいの創出、回遊性の向上を図るイベントの実施や情報発信を行いました。

- ・中心商店街「磨」マップ作成
- ・第3回山口まちゼミ(10/1~10/31)
- ・おいでーね！やまぐちしょっぷ！山口井筒屋チャレンジショップ(毎月第1日曜)
- ・商店街謎解きラリー
- ・大学生によるアートマルシェ(6/5)
- ・山農マルシェ(12/17)
- ・クリスマスイベント～徳地和紙を使ったワークショップ～(12/10)



⑥中心商店街を舞台としたイベント等実施主体に対する支援(補助事業)

- ・チョコフロール(山口市商店街連合会)
- ・コメコメマルシェ(米屋町商店街)
- ・100円商店街(西門前商店街)
- ・結人祭(中市商店街)
- ・どうもんフェスティバル(道場門前商店街)
- ・ハロウィン仮想コンテスト(サークルセブン)

人生100年時代を楽しむ21の幸せ地域拠点づくり ～Jリーグクラブ「レノファ山口」のつなぐ力でスマート”ライフ”シティづくり～

1 事業の概要

所管課	交流創造部湯田温泉パーク整備推進室	計画期間	令和3年4月 - 令和8年3月
交付金の種類	地方創生推進交付金	単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)
政策目標	山口の魅力に磨きをかけ、新たな「ひと」の流れをつくる	政策目標	地域の特性に応じた持続可能な都市圏・生活圏の形成
具体的な施策	協働による「個性と安心の21地域づくり」	具体的な施策	生涯にわたって元気に暮らす「健康長寿のまち」
具体的な取組	協働によるまちづくり	具体的な取組	健康都市づくりの推進
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>プロサッカークラブ「レノファ山口FC」のもつ集客力や多くのスポンサー企業等の民間企業とのつながり、また、県内における知名度や影響力など、プロスポーツクラブならではのリソースを活用し、人生100年時代において、市内全21地域が住み慣れた地域住民にとって心身共に健康で、生きがいをもって楽しく暮らし続けることができるまちとなるよう、各地域で多様で持続可能な事業展開が可能となる仕組みづくりを行うとともに、市内21地域と企業を結び付け、自立し、自走できる21地域ごとの幸せコンテンツを構築する。</p>		<p>◆地域と企業をつなぐ公民連携プラットフォームの運営及び構想策定 ・地域や企業等と連携による若者を中心とした湯田温泉の活性化に向けたワークショップを開催。 6月17日 参加者約15人 カリエンテ山口 ・湯田温泉パークがあるまちの未来を描くビジョンセッション。 第1回(ありがたい未来の検討) 8月19, 20日 参加者35人 カリエンテ山口 第2回(ありがたい未来に向けての実験アイデアの検討) 10月8日 参加者24人 カリエンテ山口 ワークショップで4つの事業の実施に向けて協議を重ねる。 ◆プロスポーツの集客力等を生かした全世代交流事業の実施 ・『湯田温泉×レノファ山口』山口市プロギングの実施 10月23日 参加者数 77人 ◆市民参加による地域の愛着醸成に寄与する事業及び情報発信 ・湯田中学校の生徒が主体となった地域パブリックビューイングの実施。 3月19日 参加者数約80人 湯田中学校体育館 ・大学生が中心となった湯田温泉の新たな商品の開発 1月～3月の計6回開発に向けた協議 参加者数延べ35人 ◆企業と連携した健康づくり事業の実施 ・湯田中学校において高齢者等も参加しやすいウォーキングサッカー体験会を開催。3月19日 参加者約20人 湯田中学校グラウンド ・高齢者を対象に温泉を活用した健康づくり「湯田温泉ヘルスラボ事業」の実施 参加者数延べ49人 10月22日～12月22日計10回</p>	
事業の概要(経費内訳)			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域と企業をつなぐ公民連携プラットフォームの運営と構想策定 4,500千円 ・プロスポーツの集客力等を生かした全世代交流事業の実施 5,000千円 ・市民参加による地域の愛着醸成に寄与する事業及び情報発信 5,000千円 ・企業と連携した健康づくり事業の実施 5,500千円 			

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1) KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和3年度)	実績値(増分) (令和4年度)	目標値(増分) (令和4年度)
①	地域行事や市民活動に年1回以上参加している市民の割合	%	54.2	-11.4	6.8	1.5
②	本事業を実施する地域の増加数	地域	0	6	0	8
③	本事業に参画する企業数	件	0	6	14	10
④	本事業を通じた健康づくり等のプログラムへの参加者数	人	0	134	315	1,000

(2) 評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に相当程度効果があった。	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、新たに本事業に参画する地域が増えず、行事回数や参加者は目標を達成できなかったが、昨年度から参画している湯田地域において、地域や企業が連携して若者を中心とした地域活性化の取組が進み、本事業の目指す公民連携のプラットフォーム構築に向けて大きく前進できたため。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	令和5年度は、引き続き、令和6年に完成予定の湯田温泉パークでの事業展開を見据え、湯田地域を中心に、レノファ山口のリソースを活用し、企業等と連携する若者を主体とした地域活性化の取組を進める中で、持続可能な事業展開に向けた仕組みづくりを進めるとともに、他地域へもこうした企業等と連携した持続可能な事業に発展させていけるように地域や企業等の意見を聞きながら事業を進めていく。

【令和4年度取組実績】

人生100年時代を楽しむ 21 の幸せ地域拠点づくり
 ～Jリーグクラブ「レノファ山口」のつなぐ力でスマート“ライフ”シティづくり～の概要

●地域と企業をつなぐ公民連携プラットフォームの運営

◆ 地域課題解決に向けて、レノファ山口のリソースを活用して、市民が主体となって、地域や企業等の連携により、多様で持続可能な事業展開を可能とする公民連携プラットフォームを構築するため、令和4年度は、地域や企業等と連携による若者を中心とした湯田温泉の活性化に向けたワークショップを開催し、ワークショップでできた4つの事業の実施に向けて協議を重ねた。



「レノファ社会連携リング」の創出・促進

市民、行政、企業などが連携し、共通テーマを設定。レノファの資源を活かし、価値創出を行う。

スポーツを活用した、新しい市民協働・官民連携モデルの創出へ

◆レノファ山口FC×湯田温泉PARK PROJECT について

【レノファ山口FC×湯田温泉PARK PROJECTについて】

- 2024年、山口市に湯田温泉PARKが開設予定
- 施設開設前から、地域につながるのがあるレノファ山口と多様な関係者と一緒に湯田温泉PARK（周辺地域含む）を活性化していく活動を生み出していく

活動のテーマのキーワード：「多世代交流」「健康増進」

【2022年度に目指したいゴール】

- 1つ以上の共創施策の実践
- 3つ以上の共創施策アイデアの企画

※ 施策のメインターゲット：「近隣住民向け」（+「観光客向け」も視野に入れる。）

【2022年度 活動ロードマップ（案）】

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
春		夏			秋			冬		
設計フェーズ		発想フェーズ			実践フェーズ			展開（検討）フェーズ		
4-5月 事務局検討	6/17 PJコアチーム キックオフ セッション	7月 セッション 準備	8月 ビジョン セッション	9月 アイデア セッション	10-11月 プロトタイピング 施策実践		12月 振り返り セッション	1-3月 次年度の 展開に向けた検討		

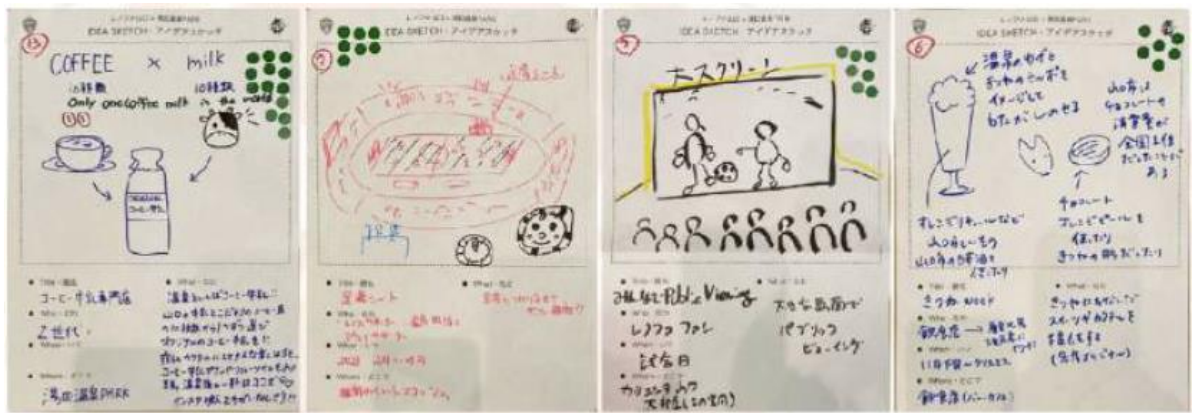
➤ 8月19, 20日 湯田温泉パークがあるまちを描くビジョンセッション(参加者35名)



➤ 10月8日 ありたい未来に向けての実験アイデアの検討に向けたセッション(参加者24人)



➤ ワークショップで4つの事業の実施に向けて協議を進めた。



●プロスポーツの集客力等を生かした全世代交流事業の実施

◆ ジョギングとごみ拾いをかけ合わせた新しいフィットネスである「プロギング」で体を動かした後に、レノファ山口のホームゲームを観戦する『湯田温泉×レノファ山口』山口市プロギングを湯田地域と連携して実施し、77人の参加があった。



●市民参画による地域の愛着醸成に寄与する事業及び情報発信

- ◆ ワークショップから出た事業の一つで、湯田中学校の生徒が企画・運営するパブリックビューイングを令和5年3月19日に湯田中学校で実施し、約80人の参加があった。レノファ山口のスポンサー企業である富士商(株)の協力により、EVによる再エネ電力源を活用して開催した。



- ◆ ワークショップから出た事業の一つで、山口大学の学生が湯田温泉新しい商品としてコーヒー牛乳を開発する「ミルプロジェクト」を立ち上げ、湯田地域にある西田コーヒーを始め、秋川牧園やときつ養蜂園と連携して、試飲等を行いながらコーヒー牛乳の開発をおこなった。



●企業等と連携した健康づくり事業の実施

- ◆ 山口県障がい者スポーツ協会と連携して、高齢者や障がい者の方等でも参加しやすいウォーキングサッカー体験会を湯田中学校で開催し、約20人の参加があった。



- ◆ 湯田温泉旅館協同組合と NPO 法人山口ヘルスプロモーションと連携して、足湯に浸かって心身を温め、しっかりほぐした後、スポーツクラブ運動指導者による運動や、保健師による食事・栄養講話、脳トレを行うプログラムを行い健康効果の測定事業を実施する湯田温泉ヘルスラボ事業を、70～80代の高齢者を対象に約3か月にわたり実施し、延べ49人の参加があった。



女性活躍推進を軸とした誰もが輝ける多様な職場づくり重点プロジェクト

1 事業の概要

所管課	商工振興部ふるさと産業振興課		計画期間	令和4年4月 - 令和7年3月	
交付金の種類	地方創生推進交付金		単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)	
政策目標	誰もが安心して働くことのできる「しごと」をつくる		政策目標		
具体的な施策	産業活力・地域雇用を創出する「働く・企業なら山口」		具体的な施策		
具体的な取組	多様な働き方の創出による人材確保		具体的な取組		
政策目標			政策目標		
具体的な施策			具体的な施策		
具体的な取組			具体的な取組		
事業の概要(目的)			事業実施の状況		
(1)女性人材の掘り起こし・女性が輝き活躍できる場を創出 (2)多様な働く場の創出によるインクルーシブな社会の実現 (3)働き方改革やデジタル化を契機とした柔軟な働き方促進と企業の生産性向上 上記の(1)から取組を進めることで、地域を支える地元企業の生産性向上や人材定着を目的とした働き方改革推進や、多様な人材がそれぞれの個性を活かしながら働ける環境整備を促進し、地域社会全体で魅力的な職場環境の形成や新たなしごとの創出に繋げていくことで、それぞれが希望する働き方の選択をすることが可能となる環境の構築につなげる。			<ul style="list-style-type: none"> ●働く女性の活躍応援事業 ・女性が活躍できる環境支援事業として、企業向け中小企業の意識改革セミナー、女性従業員向けステップアップセミナーの実施 ・未就労者向け多様な働き方や働く場を学ぶセミナーの実施 ・女性活躍応援サイトの構築 ●女性の採用・活躍を積極的に推進する事業者を支援する「女性活躍職場環境改善助成金」 ●人材確保企業支援事業 ・企業向け採用に係るセミナー、離職者向け就活リスタートセミナー、就職氷河期世代向け就活スキルアップセミナー、就職マッチング面談会の実施 ●高齢者活用のための人材確保支援事業 ・55歳以上の高齢者が活躍することを支援するセカンドライフ応援セミナーや企業との交流会の開催 ●従業員スキルアップのための研修費等を支援する「山口市中小企業人材育成応援補助金」 ●人材確保のためのサイト運営事業 ・企業の採用に係る情報発信のサイト構築補助する「山口市中小企業採用情報Web発信事業費補助金」 ●企業向け外国人労働者受入セミナー ●企業向け障がい者雇用促進セミナー ●働き方改革推進企業応援事業 ・企業を対象に、働きやすい職場環境づくりや多様な働き方の導入などをテーマとしたセミナーの開催 ●厚労省連携セミナー(育児・介護支援プラン導入支援事業) ・厚労省事業として「仕事と育児・介護の両立支援セミナー」の開催と、中小機構との連携による「中小企業大学サテライトゼミ」を実施 		
事業の概要(経費内訳)					
<ul style="list-style-type: none"> ・働く女性の活躍応援事業(4,437円) ・女性が活躍できる環境支援事業(220千円) ・人材確保支援事業(2,999千円) ・高齢者活用のための人材確保支援事業(1,000千円) ・従業員スキルアップのための研修費等を支援する補助金(596千円) ・人材確保のためのサイト運営事業(990千円) ・企業向け外国人労働者受け入れセミナー(500千円) ・企業向け障がい者雇用促進セミナー(500千円) ・働き方改革推進企業応援事業(1,999千円) ・厚労省連携セミナー(124千円) 					

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1)KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和4年度)	目標値(増分) (令和4年度)
①	多様な人材を積極的に受け入れる事業者数	社	-	56	10
②	事業を通じて採用された多様な人材の人数(女性・障がい者・高齢者・外国人)	人	-	0	68
③	事業への参画によって、就労意識が向上した求職者数	人	-	0	22

(2)評価

本事業の実施状況について		
事業効果	本事業は地方創生に効果があった。	理由 潜在的労働力となっている未就労女性の就労意欲を高めるセミナー及び企業との交流会の効果的な実施のほか、多様な人材確保や職場環境改善における事業者の機運の醸成につながるセミナーを実施したことにより、積極的に多様な人材を採用しようとする事業者が増加した。
実績値を踏まえた事業の今後について		
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由 本事業において、女性をはじめ高齢者や障がい者、外国人など多様な人材と企業の双方に働きかけることで、社会全体の機運を高め、企業の魅力向上や引き続き、多様な人材が安心して働ける雇用の場を整備する取組を進めていく必要がある。

女性活躍推進を軸とした誰もが輝ける多様な職場づくり重点プロジェクトの概要

<女性人材の掘り起こし・女性が輝き活躍できる場の創出>

●働く女性の活躍応援事業

・山口市女性しごと応援プログラム「私らしく HATARAKU 計画」

女性が働くことを前向きに捉え、それぞれの希望をかなえて「自分らしく」働くための第一歩を支援するとともに、誰もが生き生きと働ける地元企業の職場環境づくりに取り組む事業。

1 女性向け支援

「スタートアップ講座」

育児や介護などの理由で離職した女性や、長時間の就労ができない女性人材の就職に向けた第一歩を支援するため、子育て中の女性人材等が興味を持って参加できるような様々な内容や場所を活用して、未就労の女性人材の就労意欲を高める目的のセミナーを実施した。

【参加者数】28名



「スキルアップ講座」

仕事と家庭・育児・介護等との両立を希望する女性が、就職・転職や、正規雇用化を目指す際に自信を持って就職活動に臨めるよう、基礎的かつ実践的なビジネススキルの習得・向上を目的としたセミナーを実施した。

【参加者数】28名



2 企業向け支援

「女性のための働きやすい職場環境づくりセミナー」

中小・小規模事業者における女性従業員を対象とし、女性が働きやすい職場環境づくりを見つめなおし、今後の就労環境向上のための学びと、各企業の現状や、独自の取組などの情報交換を促すことで、横のつながりの創出や、自社を客観的に見つめなおし従業員の離職防止につなげるための、グループワークを含めたセミナーを実施。

【参加者数】5名



「女性活躍推進のための職場環境改善セミナー」

経営者・人事担当者・リーダー社員等を対象とし、男女ともにワークライフバランスが充実した働き方の啓発を目的とし、女性活躍推進のための職場環境改善についてのグループワークを含めたセミナーを実施。

【参加者数】8名



3 女性と地元企業との交流会

「JOB CAFE」

仕事の空白や子育てとの両立、自分に合った働き方などの悩みを気軽に企業に相談できる、「働くチャンスを探す女性」と「女性が活躍できる企業」との出会いの場となる交流会を実施した。

【求職者数】11名

【企業数】9社



●女性が活躍できる環境支援事業

・山口市女性活躍職場環境改善助成金

市内の中小企業を対象として、働く意欲を持つ女性が、能力を伸ばしながら生き生きと働ける職場環境の整備を目指し、事業者のトイレや更衣室等の施設改修や意識啓発などの取組を支援した。

【助成限度額】20万円

【助成率】1/2

【補助件数】3件



<多様な働く場の創出によるインクルーシブな社会の実現>

●人材確保企業支援事業

・企業向け人材確保採用力アップセミナーの実施

人材確保を課題とする山口県央連携都市圏域内(以下「圏域内」という。)の企業に対して、採用力向上のために有用な情報の提供や現状の改善を啓発するセミナーを実施した。

【参加者数】7名



・就活リスタートセミナーの実施

コロナ離職者や就職氷河期世代をはじめとした、不安定な就労状態に置かれており正社員への転換を目指す労働者や、正社員としての転職を考えている労働者に対し、正社員として必要となる知識や技能を習得するセミナーを「基礎演習」2日間、「スキルアップ研修」3日間の計5日間にかけて開催した。

【参加者数】9名



・圏域内企業との交流会・職場見学等の実施

最終的に企業と労働者の間での雇用のミスマッチが生じない就職に結びつけることを目的とし、人材確保に積極的に取り組む圏域内の企業と、本事業において正社員になるためのスキルを身に着けた正社員希望の労働者等との交流会や職場見学会を開催した。

【参加者数】5名

【参加企業数】5社

【職場見学会】3名



●高年齢者活用のための人材確保支援事業

・アクティブシニア向けセカンドライフ応援セミナーの実施

高齢者がこれまでの経験を活かし、生涯現役で活躍できる社会の実現のため、現在未就労の元気な高齢者(アクティブシニア)を対象に就業意欲を喚起するセミナーを実施した。

【参加者数】37名



・アクティブシニアと企業との交流会の実施

働く意欲と元気のある高齢者と、人材確保に取り組む地元企業との面談会を実施した。

【参加者数】20名

【参加企業数】6社



●従業員のスキルアップのための研修費等を支援する補助金

・山口市中小企業人材育成応援補助金

企業の既存の従業員の育成や職場定着につなげるため、業務上必要なスキル取得やリカレント教育に係る研修費や講師料の一部を支援した。

【助成限度額】従業員1人につき5万円、1企業につき20万円

【助成率】1/2

【補助件数】24件



●人材確保のためのサイト運営事業

・山口市中小企業採用情報 Web 発信事業費補助金

人材の採用・定着を目的とした企業情報の発信のために開設するホームページの製作または改修などに必要な費用の一部補助を実施した。

【助成限度額】10万円

【助成率】1/2

【補助件数】6件

・やまぐち仕事応援サイトコンサルタント事業

求職者が働くイメージを想像するための市内企業の情報を、取得しやすく、また市内中小企業の認知度を高め人材の確保に寄与するため開設した「やまぐちしごと応援サイト」において、企業紹介動画、インターン体験動画やセミナー情報の掲載更新やサイト改修、アクセス傾向などのデータ分析を実施した。

山口市の企業インタビュー



●企業向け外国人労働者受け入れセミナー

外国人雇用に関する基礎知識の習得と、多様な働き手のひとつである外国人材の雇用を通じた企業価値の向上による雇用の促進するために、第一部「外国人材の現状と解説」、第二部「県内企業の取組紹介」の2部構成で、企業向けセミナーを実施した。

【参加者数】12名



●企業向け障がい者雇用促進セミナー

障がい者雇用を進めるポイントや先進事例の紹介により、企業の障がい者雇用を促進するため、「障がい者社員が戦力となってイキイキと働くための実践講座」を開催した。

【参加者数】19名



<働き方改革やデジタル化を契機とした柔軟な働き方促進と企業の生産性向上>

●働き方改革推進企業応援事業

働くすべての人が、個々の事情に合わせてその意欲と能力を發揮できる就労環境の整備を目指し、「働き方改革スタートアップ研修」として「働き方改革事例研究の基調講演」を1回、「体感研修」を3回後、希望する企業に個別相談会を開催した。

- 基調講演 【参加者数】15名+後日視聴 32名
- 体感研修①【参加者数】11名+後日視聴 33名
- 体感研修②【参加者数】11名+後日視聴 33名
- 体感研修③【参加者数】10名+後日視聴 34名
- 【個別相談】5社



●厚労省連携セミナー(育児・介護支援プラン導入支援事業)

厚労省事業「中小企業のための育児・介護支援プラン導入支援事業」として「仕事と育児・介護の両立支援セミナー」1回と、中小機構との連携による「中小企業大学校サテライトゼミ」計3回を実施した。

- ・「仕事と育児・介護の両立支援セミナー」参加者数:12名
- ・サテライトゼミ
 - 「やる気を高める人材育成の進め方(2日間)」参加者数:10名
 - 「物語マーケティングの実践法(2日間)」参加者数:9名
 - 「女性リーダーのためのステップアップ講座(2日間)」参加者数:7名



関係人口の創出による農山漁村エリア活性化プロジェクト

1 事業の概要

所管課	農林水産部農山村づくり推進課	計画期間	令和4年4月 - 令和7年3月
交付金の種類	地方創生推進交付金	単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)
政策目標	山口の魅力に磨きをかけ、新たな「ひと」の流れをつくる	政策目標	
具体的な施策	協働による「個性と安心の21地域づくり」	具体的な施策	
具体的な取組	中山間・南部地域の活力アップ～農山村の振興～	具体的な取組	
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>本市の農山村エリアの地域資源を活用し、新たな人の流れを呼込むため、地域外からの観光交流や地域のファンを増やす交流人口の取組とともに、移住・定住に向けた取組を強化する。また、交流から定住へとつなげるために、新たに「関係人口」の創出に向けた取組を進める。さらに、農山村エリアの基幹産業である農林水産業の振興を図ることで、農山村エリアにおける就業の場を確保する。</p> <p>こうした取組を進めることで、農山村エリアの人口減少に歯止めをかけ、地域課題の解決や地域活力の向上につなげ、元気な農山村エリアの実現を目指す。</p>		<p>(1)地域資源を活用した交流人口の拡大 ・農林水産物の販売イベントの定期的な開催や、農山村エリアにおける起業・創業、新規事業開拓への支援 ・地域資源を活用した特産品の開発や交流イベントの開催 ・道の駅「あいお」のウェブサイトの開設や、道の駅「仁保の郷」の機能強化に向けたワークショップの開催 ・東大寺サミットの開催や、重源の郷体験交流公園の機能強化に向けた取組の実施</p> <p>(2)関係人口の創出、移住・定住の取組による持続可能な農山村エリアの形成 ・関係案内人の育成や地域の関わりしるの体験プログラムの開催等 ・移住定住の促進に向けたプロモーション活動(移住フェアやガイドブック作成、ウェブサイトやSNSでの発信等) ・空き家・空き地バンク制度の運用や、空き家を活用した交流事業の開催にかかるとの支援</p> <p>(3)農林水産業の振興 ・スマート農機導入に向けた支援や、大学と連携した実証実験の実施 ・省力化につながる農業用施設や農機具の導入に向けた支援 ・道の駅の出荷量増加を目的とした野菜等の栽培に係る講習会の開催 ・やまのいもや椎茸の担い手育成に向けた取組の実施</p>	
事業の概要(経費内訳)			
<p>(1)地域資源を活用した交流人口の拡大(51,769千円) (2)関係人口の創出、移住定住の取組による持続可能な農山村エリアの形成(11,734千円) (3)農林水産業の振興(45,311千円)</p>			

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1)KPIの達成状況

KPI項目		単位		事業開始前	実績値(増分) (令和4年度)	目標値(増分) (令和4年度)
①	本事業を通じて農山村エリアへ移住した人数	人	-	198	36	10
②	農山村エリア等における人口の転出超過の抑制 (農山村エリア等の社会動態)	人	-	-208	193	68
③	関係案内人の育成数	人	-	0	0	0
④	農山村エリア(過疎地域)の交流人口	人		701,923	69,593	40,000

(2)評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に非常に効果があった。	理由	KPIの達成状況はいずれの項目も目標値を達成しており、本事業において、農山村エリアの地域資源の掘り起こしや、担い手の育成、販売所の機能強化、交流人口や関係人口の創出・拡大、移住希望者へのプロモーション、空き家活用など、本市の農山村エリアの魅力に磨きをかけることで、農山村エリアの活性化につながった。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	交流人口の拡大や、移住・定住の促進に向けた取組、農林水産業の振興に向けた取組強化、関係人口の創出につながる取組等を進めることで、引き続き、持続可能な農山村エリアの形成を図る。

関係人口の創出による農山村エリア活性化プロジェクトの概要

<地域資源を活用した交流人口の拡大>

●都市農村交流の促進

- ・農林水産物を活用した情報発信事業

【あぐまるやまぐちの実施】

市街地等において、市内産農林水産物の定期的な販売イベント「あぐまるやまぐち」を実施した。本事業では、生産者や加工業者と消費者である山口市民を対面販売を通じて直接つなぎ、市内産農林水産物の認知度を高め、地産地消を推進するとともに、都市部との交流機会の創出や交流人口の増加を図った。

開催期間:令和4年5月15日~令和5年2月12日(14回)

開催場所:中心商店街、亀山公園、新山口駅、維新ホール、道の駅など



【ぐるっと山口道の駅ナナシマチスタンプラリーの実施】

県央連携都市圏域内の道の駅、直売所などで販売している農林水産物、商工産品を消費者に知ってもらい、今後の消費拡大、地産地消に繋げることを目的として、デジタルスタンプラリーを実施した。農山村部の道の駅や直売所を巡ることで、都市と農山村の交流をすすめる、農山村の振興と交流人口の増加を図った。

開催期間:令和4年11月20日~令和5年1月31日

参加駅数:21施設

登録者数:419

応募者数:244

当選者数:84



・農山村ビジネス創出支援事業

【農山村地域活性化ビジネス支援事業】

農山村エリアの地域資源を活用し、地域における雇用や地域内への経済波及効果の創出、地域課題の解決など地域の活性化を図る事業に対して支援を行った。

審査委員会の開催:1回

認定事業:4事業 (17,866 千円)

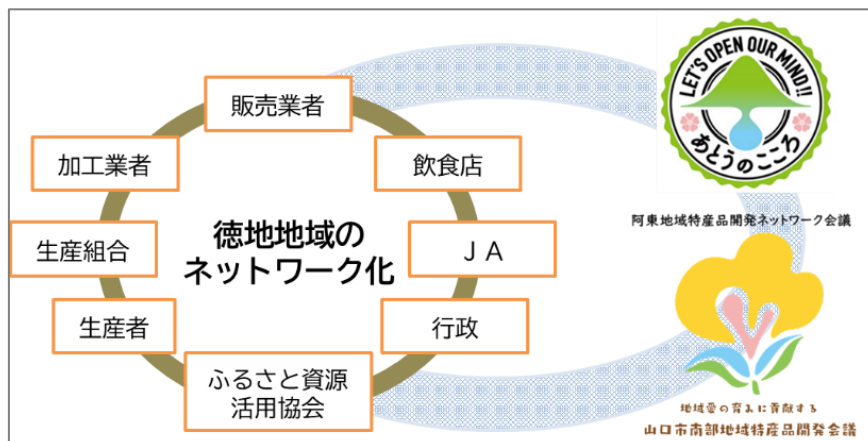
事業者名	事業名	地域
企業組合 アグリアートジャパン	レストラン「蘭土」の事業継承に伴う 阿東地域活性化事業	阿東
二象舎 原田和明	デイキャンプ場の造成と貸別荘の新築	秋穂
金子 雅人	梨園の事業承継および観光梨狩り開園 による産地の振興	阿東
有限会社FirstClass	地域課題解決開発 L a b 拠点整備プロ ジェクト	阿東

・ブリッジ人材活用事業

【ブリッジ人材の活用】

「生産者、加工者、販売者、JA、金融機関、行政等の関係団体のネットワーク化」、「地域内での情報や価値観を共有する団体(ヒト)の育成」、「新たな特産品の開発サポート」、「地域資源の付加価値の向上」を図るため、関係者間を調整・橋渡しを行うなど、ヒトやモノをネットワーク化し具現化する取組を推進・マネジメントする「ブリッジ人材」を導入し、徳地地域内においてネットワーク化を図る取組とともに、南部地域特産品開発会議や阿東地域特産品開発ネットワーク会議との広域ネットワーク化に向けて、情報交換会等を実施した。

(イメージ図)



<関係人口の創出、移住・定住の取組による持続可能な農山村エリアの形成>

●関係人口創出促進事業

・関わりしる創出モデル事業

【つながるYAMAGUCHI Table】

関係人口の創出・拡大を図るため、地域の「関わりしる」の情報発信や具体の活動につなげていくコーディネーターを発掘・育成するとともに、地域での受け入れ・交流事業の試行体験プログラムを実施し、本市に貢献したい、関わりを持ちたいと考える都市部の人材が、関係人口となるきっかけづくり、土壌づくりに取り組んだ。

令和4年 8月24日	関係人口セミナー「結果的に移住につながる『関係人口』のつくり方」	参加者 20名
9月14日	第1回関係案内人育成講座「地域と関係人口のつなげ方」	参加者 15名
10月3日	第2回関係案内人育成講座「移住につながる関係性の深め方」	参加者 11名
10月5日	試行体験プログラム説明会(神戸市)	参加者 19名 (うち7名はオンライン参加)
10月 28~30日	試行体験プログラム(南部エリア)	参加者6名
令和5年 1月12日	第3回関係案内人育成講座「振り返りと今後の方向性」	参加者4名



●移住・定住の促進に向けた取組

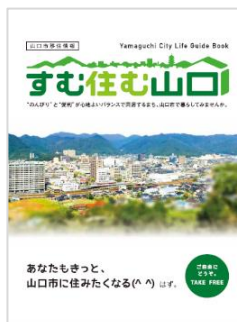
・やまぐち定住実現プロモーション事業

都市部の住民の地方移住への関心が高まる中、移住や移住者の就労に関する情報をまとめたガイドブックやSNS等を活用した情報発信などのプロモーションを実施するとともに、大都市圏で開催される移住希望者向けのフェアやセミナーへ参加し、移住相談を行うことにより、移住促進を図った。



【フェア等参加回数】 8回(東京6回、大阪2回)

【フェア等相談対応件数】 63組78名



<農林水産業の振興>

●経営基盤の強化と担い手の育成

・スマート農機等の導入促進

【スマート農機等の導入】

農業従事者の高齢化に伴う労働力不足の課題解決及び農業経営の効率化や生産性向上を図ることを目的として、地域農業の中心となる認定農業者又は農地所有適格法人が行う ICT や AI、ロボット技術等の先端技術を活用したスマート農業技術を導入する取組に対し、支援を行った。

支援対象経営体数:6経営体

導入スマート農機:高性能田植機 2台

直進アシスト機能付トラクター 3台

農業用ドローン 1台



【スマート農業機器・技術導入に関する実態調査】

山口大学と連携し、本市の農業におけるスマート化の実態を把握し、生産者が必要と考えるスマート化の現状と課題について調査を行った。さらに、無線通信デバイスとセンサデバイスを融合させた無線センサネットワークシステムの構築について、実証を行った。



「山口ゆめ回廊」観光を基軸とした交流価値共創プロジェクト ～観光交流から移住・定住へ～

1 事業の概要

所管課	交流創造部観光交流課	計画期間	令和4年4月 - 令和7年3月
交付金の種類	地方創生推進交付金	単独事業と広域事業の別	広域 (山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、島根県津和野町)
政策目標	山口の魅力に磨きをかけ、新たな「ひと」の流れをつくる	政策目標	
具体的な施策	山口の個性を高め暮らしを楽しむ「文化・観光・スポーツなら山口」	具体的な施策	
具体的な取組	おいでませ山口・観光地域づくり	具体的な取組	
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>2025年の大阪・関西万博及び2026年の大型誘客キャンペーン誘致開催を目的とする交流人口の拡大と観光から移住定住につながる交流の深化に取り組む。</p> <p>初年度(2022年度)は、デジタル化の推進やMaaSを見据えた二次交通の充実等に向けた社会基盤整備に着手するとともに、ワーケーションやプレジャー等の新しい働き方、生活様式、行動様式に対応し、また県内最大のコンベンションホールを活用したMICE誘致、ビジネス誘客に取り組むことで、新たな人流創出を図る。また、移住定住人口の拡大を見据え、観光を基軸として創出した交流の深化を図る取組(山口県央連携都市圏域を構成する7市町による、より質の高い観光地域づくり)やインバウンド誘客、特に国、地域別の観光ニーズを踏まえた誘客コンテンツの創造を通じて、まちの賑わい創出に向けた取組に着手する。</p>		<p>(1) - ①新しい生活様式や行動様式等社会変化に対応した新たな人流創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7市町周遊リアル宝探しゲーム【参加者約27千名、消費額約37百万円】 ・7市町住民向け周遊促進イベントキッズサマーパス【参加者数約3,000名】 ・7市町の既存の食店舗の魅力発信 ・7市町における滞在時間拡大に向けたテーマ型宿泊付モニターツアーの実施。 ・7市町における着地型観光を生かした交流人口拡大事業【参画観光関連事業者数: 20団体】 ・デジタルプロモーション・マーケティング観光DX誘客推進事業(SNS等を活用した情報発信及びマーケティング: 山ちよる(フォロワー数約6,000人) 山口カレンダー新設)等 <p>(1) - ② KDDI維新ホール等を活用した新たな交流創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地資資源を生かしたビジネス誘客・交流創出事業【山口市のMICE誘致件数: 134件 約70千人】 ・山口版MaaSを見据えたAIを活用した宇部空港と湯田温泉をつなぐ空港直行乗合タクシー実証運行事業の実施【利用件数: 1,096件】 ・本市固有の資源、魅力を生かし、本市ならではの観光ブランド創出を交流につなげる取組を展開。 ・ユニークベニュー会場を使用した誘客コンテンツ創出支援事業【イベント開催補助: 13事業】 ・山口ゆらめき回廊・着物のまち歩き開催 等 <p>(2) 住んでよし、訪れてよしの観光地域づくりを通じた多様な交流創造事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第30回地域伝統芸能全国大会の開催【来場者数: 約67,000名】 ・手ぶら観光・湯けむり手形の実施 ・大学と連携した山口市観光アンバサダーを活用したPR ・山口市1日周遊乗車券の販売【売上: 258件】等 <p>(3) インバウンド誘客から創出する「まちの賑わい」創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾最大の国外旅行サイト「ラー・チー・ゴー」への本市の情報掲載 ・インバウンド観光大使委嘱、活用したPR ・自治体間観光交流パートナー協定に基づく誘客連携促進・交流創出事業 ・徳佐しだれ桜ライトアップ誘客促進の実施 ・地域通訳案内士の活用促進 等 	
事業の概要(経費内訳)			
<p>(1) 新しい生活様式や行動様式等社会変化に対応した持続可能な新たな交流の創造【84,946千円】</p> <p>(1) - ① 新しい生活様式や行動様式等社会変化に対応した新たな人流創出(36,676千円)</p> <p>(1) - ② KDDI維新ホール等を活用した新たな交流創出(48,270千円)</p> <p>(2) 住んでよし、訪れてよしの観光地域づくりを通じた多様な交流創造事業【61,224千円】</p> <p>(3) インバウンド誘客から創出する「まちの賑わい」創出事業【23,800千円】</p>			

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1) KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和4年度)	目標値(増分) (令和4年度)
①	MICE誘致件数	件	-	42	114
②	着地型観光プログラム造成件数	件	-	0	20
③	外国人観光客数	人	-	24,164	12,082

(2) 評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に相当程度効果があった。	理由	外国人観光客の入国制限という基礎自治体だけでは対応困難な状況によるKPI未達があったものの、KDDI維新ホールの供用開始に合わせた効果的な誘致プロモーションの展開や計画通りの着地型観光プログラムの造成が達成されるなど、本事業によって幅広い事業展開が可能となり、KPIの達成が実現できた。外国人観光客についても、ターゲット国への誘客プロモーションを実施できたことで、入国制限の解除後の誘客につながるものと大いに期待している。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	現在のポストコロナ社会において、地域経済活動の活性化を目指し、新たな生活様式や旅行スタイルを踏まえながら、さらなる誘客、交流人口の拡大に取り組む。第2期山口県央連携都市圏域ビジョンを踏まえながら、2025年の大阪・関西万博や翌年の大型観光キャンペーンの誘致開催を見据え、広域連携のメリットを生かしながら国内大都市圏とインバウンド誘客に取り組み、持続可能な観光地域づくりを進める。

【令和4年度取組実績】

「山口ゆめ回廊」観光を基軸とした交流価値共創プロジェクト ～観光交流から移住・定住へ～」の概要

- (1)新しい生活様式や行動様式等社会変化に対応した持続可能な新たな交流の創造
(1)－① 新しい生活様式や行動様式等社会変化に対応した持続可能な新たな人流創出

●7市町消費喚起型周遊促進「リアル宝探し」イベント

参加者は、7市町に設置された7つの宝箱を探し、地域内を周遊するイベントの開催。

期間:9月17日～12月25日

延べ参加者数:約27,000人

経済効果(推定):約37,000千円(参加者アンケートより)



●7市町住民向け周遊促進キッズサマーパス

圏域内周遊促進を目的に、圏域内対象11施設において、夏休み期間中、圏域在住の小人料金の減免を実施。※要保護者同伴

・開催期間:7月20日～8月31日

・利用者数:3,028名



●7市町食の周遊促進事業 7市町の食のコンテンツの魅力発信

- ・食の周遊促進instagram「7ちよる」開設(R4年8月5日)(フォロワー数:1,735件 R5年3月16日時点)
- ※ゆめはくinstagram(フォロワー数約200件)のアカウントを継承。



「7ちよる」の主要成果指標

- ▶フォロワー数:1735人(3月16日時点) ▶投稿数:109(3月16日時点)
- ▶総リーチ:77052(2月28日時点) ▶総インプレッション:94451(2月28日時点)
- ▶フォロワー属性
 - ・フォロワーの居住地域 TOP3:①山口市②宇部市③防府市
 - ・県外のフォロワー地域 TOP2:①広島市②大阪市(全体でもトップ④⑤)
 - ・男女比:女性69%/男性30.5%
 - ・年齢層:「25~34歳」層と「35~44歳」層が各3割強で全体の7割弱

- ・7市町独自の食を紹介・周遊を促すシンボルとして、「食のアンバサダー」を企画
- 各7市町観光交流課からの推薦をもとに、本事業の主旨に賛同し、各市町の食について取材・発信できる候補者へ依頼、「食のアンバサダー」を選任



①「食の周遊」プレゼント企画

県央連携「食の周遊」を促進する食材・飲食スポットを明確にするため、各7市町の一押し食材・購入場所等のアンケートを実施。この結果をもとに、「プレゼント企画」特産品の選定や「食の周遊」アンバサダーの取材場所をピックアップした

②「食関連イベント」情報

7市町の観光交流課・コンベンション協会に関連する食事業をメインに、イベントのチラシ・ポスターを抽出。開催の市町や日付を強調したデザインに組みなおし、定期的に掲載町市民・観光客目線で「7市町間の周遊」をプランニングしたくなるような導線を構築

③「食の周遊」マガジン

Instagram ユーザー視点から及び7市町の特産品の魅力が生かせる「食の周遊」を促進するためのテーマ設定を行い、以下の6ジャンルを抽出した

●7市町滞在時間時間拡大に向けたテーマ型宿泊付モニターツアー

山口ゆめ回廊圏域内で完結する観光開発を目的とし、近隣都市圏(広島・福岡)からの宿泊を含むモニターツアーを設定。リピーター、ロイヤルカスタマー(圏域ファン)の創出を目指し、移動、宿泊、食、着地型体験コンテンツの提供を通じて、圏域の魅力発信に取り組んだ。

・夏季ツアー【萩市泊 参加者 32 名(広島 18 名、福岡14名)】

圏域の自然の観光資源である Mine 秋吉台ジオパーク、萩ジオパークを組み込んだコースを設定。コロナ第7波の影響を受け広島発着のツアーは人数減で実施、福岡発着のツアーについては催行できず3月に延期して実施。

①広島発着のツアー「夏休み山口を体験しよう！美祢・萩のジオパークめぐりと萩の絶景露天風呂」

8月19日(金)～20日(土) 1泊2日

【参加人数】18名(@16,800円)

②福岡発着ツアー

「大地の回廊やまぐち ジオサイエンスツアー ～大地を楽しもう～」

3月30日(木)～31日(金) 1泊2日

【参加人数】14名(@13,440円)



・秋季ツアー【山口市(湯田温泉)泊 参加者 75 名(広島 30 名、福岡 45 名)】

初めての試みとして津和野町での「選べる体験」(3種)を組み込んだコース設定。広島・福岡とも定員を上回る申し込みがあり、福岡については2本のツアーを催行した。

①広島発着のツアー「知られる防府・津和野に出会う旅

～紅葉の国宝瑠璃光寺五重塔と防府天満宮～

11月27日(日)～28日(月)1泊2日

【参加人数】30名(@12,000円)



②福岡発着のツアー「知らされる防府・津和野に出会う旅
～紅葉の国宝瑠璃光寺五重塔と防府天満宮～」

1班 11月20日(日)～21日(月) 1泊2日

2班 12月4日(日)～5日(月) 1泊2日

【参加人数】1班 15名 2班 30名 (@12,000円)

●「山口ゆめ回廊」着地型観光を生かした交流人口拡大事業

山口ゆめ回廊博覧会を契機として生まれた着地型観光プログラム「ゆめ散歩」を軸に、国内・国外からのさらなる来訪者拡大を図るため、プログラム開発、ブラッシュアップに取り組むもの。

・参画事業者数:20団体(山口市5団体、宇部市3団体、萩市3団体、防府市1団体、美祢市2団体、山陽小野田市3団体、津和野町3団体)

・参画者向け研修会の実施

ノウハウ蓄積や登録を希望する多様な担い手との交流によるモチベーションの向上等を目的とした基礎研修を全3回にわたって実施。

第1回 12月7日(水) オンライン テーマ「インバウンド」:17名参加

第2回 1月31日(火) オンライン テーマ「着地型観光」:20名参加

第3回 2月8日(水) 小郡地域交流センター テーマ「稼げるガイド」:18名参加

・着地型観光モニターツアーの実施(参画者向け)

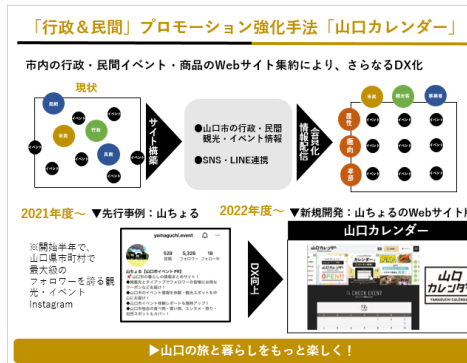
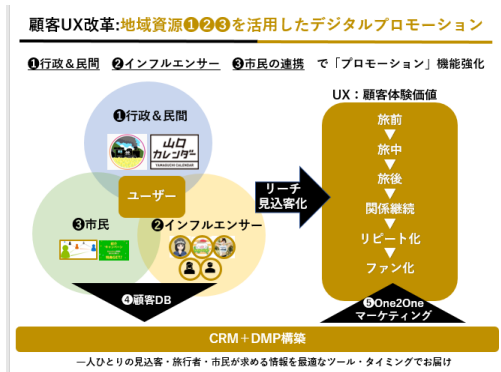
「徳地の巨木巡礼 short. ver」

3月3日(金) 17名参加 ※参画者同士によるツアーブラッシュに向けた気づきの共有

●デジタルプロモーション・マーケティング観光 DX 事業

1to1でつながる SNS 機能を生かした顧客個人ニーズの把握とニーズを踏まえた本市への誘客情報の発信。

山口市内で起こっている出来事(官民イベント)を、個別顧客ニーズに応じた形で発信し、顧客とのつながりを継続しながら、何度も訪れたい山口市の実現を目指す。



【先行事例(Instagram「山ちよる」)】

「行政&民間」によるプロモーション強化の背景

【先行事例】「山ちよる」【山口市イベントPR】Instagramアカウントによる実証(2021年度)

yamaguchi.event

528 5,326 18
投稿 フォロワー フォロワー中

山ちよる「山口市イベントPR」
山口市の暮らしの情報をまとめたサイト!
最新先とタイムアップフォローの投稿におきな
コメントを返信中!
山口市のイベント情報を体験・観光スポットを中
心に発信中!
山口市イベント体験レポートも随時アップ!
山口市独自の食べ物・買い物、エンタメ・祭り・
観光スポットも発信中!

行政&民間コンテンツ・プロモーション事例

●特徴:「行政の観光情報」「民間のイベント・商品情報」双方を日付入り掲載

【先行事例】「山ちよる」【山口市イベントPR】

2023年2月3日現在

【山ちよる】の特徴

フォロワーの性別: 79.4% 男性, 20.6% 女性

フォロワーの年齢層: 25~34歳 64.9%, 35~44歳 35.1%

フォロワーの地域: 山口県 79.4%, 山口市に次ぎ宇部市防府市周南市下関市 県外にも2割強のフォロワー (県外広島県福岡県大分県神奈川県兵庫県)

男女比は女性65%/男性35%

年齢層は「25~34歳」層と「35~44歳」層が各3割強で全体の7割弱を占める。



【山口市内の官民イベント情報をカレンダー化】

山口市のイベント情報を「カレンダー化」

- 山口市内で「いつ」「どこで」「どんなイベント」があるかすぐわかる
- 市民・旅中の一人一人の「ニーズ」「興味」「属性」に合った情報をお届け



【参考】

飲食等観光関連事業者様から、

A「事前予約制のイベント参加者から申し込みが増加(周南市等市外のお客様からの問い合わせが増えた)。』

B「食のイベント開催1か月前に予約完売(定員 100 名)。開催直前に8名のキャンセルが出たが、このサイトに空き情報を掲載すると直ちに完売。求めている人に情報を届けることができる、非常に秀逸なサイトで有難い。」

C「湯田温泉のイベント情報に合わせて、従業員のシフトを調整できるので、有難い。」

との声をいただいている。

(1)－② KDDI 維新ホール等を活用した新たな交流創出

●地域資源を生かしたビジネス誘客・交流創出事業

市内 MICE 会場((KDDI 維新ホール～湯田温泉・ユニークベニユ一会場)を生かしたビジネス誘客、交流創出

・MICE 誘致件数・延べ来場者数

R4 134 件・70, 221人

(参考:R3 68件・22, 056人)



●山口市宿泊拠点魅力創造事業

AI 予約システムを活用した山口宇部空港と湯田温泉をつなぐ「直行乗合タクシー:スマートタクシー」実証運行を実施。

利用件数:1,096 件(参考:R3年度 466 件)

※タクシー需給状況を踏まえた料金体系(ダイナミックプライシング)を導入。利用者満足度と持続可能性を追求する形で運行。



●**山口市観光需要喚起型魅力創造・交流創出事業**

観光客の旅行目的を踏まえながら本市固有の資源、魅力を生かし「美肌の温泉」や「美食」「アート(美術)」、大内氏の遺した「美しき遺産」など、多様なブランド要素を観光と融合・連携させ、本市ならではの観光ブランド創出を交流につなげる取組を展開。

・市内ユニークベニュー会場を使用した誘客コンテンツ創出支援事業(民間主導のイベントの補助)を実施。

支援実績:13 事業



【やまぐち萩往還マラニック&ウォーク(萩往還)】



【ナイトバブル@五重塔(香山公園)】



【ファミリーフェスティバーレ(中央公園)】



【ファミリーフェスティバーレ(井上公園)】

●**本市を拠点にした守護大名大内氏の美しき歴史遺産を生かした歴史文化ブランディング事業**



【山口ゆらめき回廊:来場者数 約3,800人(参考 R3:3,370 人)】



【山口市着物 DE お散歩(一の坂川~中心商店街) 参加者数:404名(参考 R3:241名)】

(2)住んでよし、訪れてよしの観光地域づくりを通じた多様な交流創造事業

●山口市ならではの歴史文化を生かした交流創造事業

第30回地域伝統芸能全国大会の開催

開催日:10月8日(土)、9日(日)

会場:メイン KDDI 維新ホール サブ会場 中央公園

来場者数:約6,700人



【連携イベント】

やまぐちオリジナル丼選手権(参加者 500名/定員 500名)



わらアート山口「わらの動物園」



●地域内連携おもてなし推進事業

「手ぶら観光 無料」

新山口駅観光交流センター⇒湯田温泉宿泊施設への手荷物配送サービスの実施

取扱個数:3,894個(参考:R3 982個)

「湯けむり手形 @200円」

湯田温泉エリアでの消費促進を図るため、食や日帰り入浴等観光関連サービスの割引クーポンの発行

販売数:710冊(参考:R3 653冊)

●圏域内大学連携による観光キャンペーン推進事業

・山口市観光アンバサダーを活用した PR(R4 任命 8 名)

【R4 主な活動実績】

- ・商店街ぶらり旅オンライン街歩きツアー
- ・JR 山口線(新山口駅～津和野駅間)開通 100 周年記念
- ・ワイルドバンチフェス
- ・地域伝統芸能全国大会～日本の祭りinやまぐち～
- ・おはら祭り(鹿児島)
- ・サイコロきっぷおもてなし観光 PR
- ・DL やまぐち号出発式 等



●二次交通対策地域交通事業者連携事業

・湯田温泉から大内文化ゾーンをつなぎ、周遊する山口市 1 日周遊乗車券の販売

実施期間:9 月～11 月(土日祝日)

販売実績:258件(参考:R3 244件)



(3)インバウンド誘客から創出する「まちの賑わい」創出事業

●ターゲット国別ニーズを踏まえたインバウンド誘客プロモーション事業

・台湾最大の国外旅行サイト「ラー・チー・ゴー」での山口市プロモーション

楽吃購(ラーチーゴー)！日本

ラーチーゴー！日本は、台湾・香港最大規模の日本観光情報サイトです。

最新掲載(2021.11) 山陽山階探検報: 百行小次郎「山口市」2天一夜探検録、美しき温泉郷の謎

【日本小次郎】「山口市、旅は何層の塔か?」

台湾・香港インバウンドに特化し、ユーザ数No.1

台湾・香港に特化する理由。

国	人口	人口に対する訪日客数の割合 (2018年)
台湾・香港	696.5万人	22.4%
中国	13億9369万人	0.6%
韓国	5090万人	14.8%

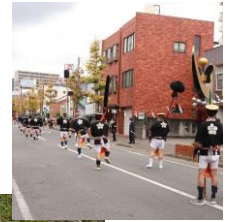
2018年訪日客数 (単位: 百万人)

山口市は訪日客に高い関心度を持つ。各観光地、旅行業等時代ニーズに合わせた観光、観光客のニーズに合わせた観光、観光客のニーズに合わせた観光、観光客のニーズに合わせた観光。

●インバウンド観光大使委嘱、活用 PR

R4 委嘱者数:29 名

(中国 8 名・インドネシア 6 名・バングラデシュ 5 名・ネパール5名・ラオス 3 名・アメリカ 2 名)



●自治体間観光交流パートナー協定に基づく誘客連携促進・交流創出事業

(美祢市・山口市観光交流パートナー協定締結 10 周年記念事業(トップセールスの実施))

観光交流パートナー協定締結10周年を迎える「美祢市・山口市観光交流パートナー協議会」の事業として、美祢市・山口市をはじめとする山口県の認知度向上、また、インバウンド事業において重点ターゲット地域のひとつと位置付け、これまでも交流を進めてきた台湾からの旅行者の誘致につなげる取組を実施。

日時:令和5年2月11日(土)・12日(日)

会場:台北市内 瓶蓋工廠台北製造所

(日本統治時代の工場跡のリノベーションスポット、イベント広場)

内容: (1)イベント開幕セレモニー

・各市長のトップセールス(観光PR・お酒紹介等)、鏡割り

(2)山口県の日本酒試飲によるPRブース

(3)両市観光PRブース(パンフレット配布、ワークショップ、動画放映)

(4)現地旅行会社商品販売ブース

(5)ROUVYブース(秋吉台バーチャルサイクリング)



●山口市ならではの自然景観を生かしたインバウンド誘客

・徳佐しだれ桜ライトアップ誘客促進の実施

令和4年3月、徳佐八幡宮のしだれ桜並木が「徳佐(サクラ)」として国の名勝に指定されたことを記念して、地元保存会の皆さんが中心となり「より多くの方々に桜並木を楽しんでほしい」とライトアップ設備の整備を行い、しだれ桜並木のライトアップが初めて実施された。

今回、JR山口線沿線の春のコンテンツとして、JR山口線の利用促進と合わせて発信し、「特急スーパーおき」の乗車率が100%を超えるなど、注目度の高いイベントとなった。



●地域通訳案内士の活用促進

地元高校×地域通訳案内士研修「英語でまち歩きin大殿地区」

アフターコロナ社会を見据えたインバウンド受入態勢の充実強化を目指し、世界基準で活躍できる人材育成に力を入れている地元高校と連携し、本市地域通訳案内士の研修を実施。

参加者:野田学園高校グローバルインターナショナルコース学生 30名

担任教員 3名

地域通訳案内士 3名



多様な主体が連携した「やまぐち創生テレワーク」×「山口型ワーケーション」×「地域づくり」の広域的・一体的な推進による移住・還流促進事業

1 事業の概要

所管課	農林水産部農山村づくり推進課 交流創造部観光交流課	計画期間	令和4年4月 - 令和7年3月
交付金の種類	地方創生推進交付金	単独事業と 広域事業の別	広域 (山口県、山口市、宇部市、岩国市、長門市、周南市)
政策目標	山口の魅力に磨きをかけ、新たな「ひと」の流れをつくる	政策目標	山口の魅力に磨きをかけ、新たな「ひと」の流れをつくる
具体的な施策	協働による「個性と安心の21地域づくり」	具体的な施策	山口の個性を高め暮らしを楽しむ「文化・観光・スポーツなら山口」
具体的な取組	中山間・南部地域の活力アップ～農山村の振興～	具体的な取組	おいでませ山口・観光地域づくり
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>山口市への移住やワーケーションを希望する県外在住者に、希望に沿えるオーダーメイド型の体験プログラムを提供することで、移住の促進及び関係人口の創出を図る。</p> <p>また、県内最大の宿泊拠点「湯田温泉」への更なる誘客・滞在時間・消費拡大を目指し、コロナ禍で注目された新しい旅行形態を意識した民間主導の商品造成・プロモーションの取組を支援する</p>		<p>①オーダーメイドワーケーションプログラム 市内の各地域において全9回のワーケーションプログラムを実施し、県外から延べ25名がプログラムに参加</p> <p>②ワーケーション着地型体験プラン商品造成・予約システム開発運用 県内最大の宿泊拠点「湯田温泉」における更なる魅力向上に向けて、コロナ禍で注目された新しい旅行形態を意識した商品造成に取組を支援 ・地域事業者と連携した体験・観光・交流等商品の企画・造成(9商品・6事業者) ・湯田散策ガイド育成(湯田ガイド育成研修開催:4名参加) ・湯田温泉に特化したSNS情報発信(Instagram9本/月)</p> <p>③ワーケーションプラン調査・発信 県内最大の宿泊拠点「湯田温泉」の更なる魅力向上に向け、コロナ禍で生まれた新しい旅行形態を踏まえ、湯田温泉の資源を活用した観光価値の創出(健康づくり、ワーケーション、おもてなし等)への取組を支援。 ・宿泊事業者ニーズ調査【ヒアリング調査:12宿泊事業者※湯田温泉旅館協同組合加盟事業者】 ・温泉資源を活用したワーケーションプランの開発や既存体験プログラムとの連携、プロモーション ・上記ヒアリング調査結果を踏まえたワーケーションプランの造成【4本】 ・造成したプログラムを中心に、湯田温泉でのワーケーションに特化したWEB・SNSでのPRを実施。</p>	
事業の概要(経費内訳)			
<p>地域資源を活かしたワーケーションプログラムの開発・商品化</p> <p>①オーダーメイドワーケーションプログラム(3,532千円) ②ワーケーション着地型体験プラン商品造成・予約システム開発運用(2,500千円) ③温泉資源を活用した新しい旅行形態を意識したプラン造成・既存体験プログラムとの連携・プロモーション(2,500千円)</p>			

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1)KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和4年度)	目標値(増分) (令和4年度)
①	本事業を通じたテレワーク移住者数 (テレワーク移住支援制度活用者数)	人	-	44	11
②	本事業で運営する県のテレワーク・ワーケーション拠点施設における県外からの利用者数	人	-	1,280	2,200
③	本事業で進める「やまぐち創生テレワーク」ネットワーク加入者数	施設	-	22	4

(2)評価

本事業の実施状況について		
事業効果	本事業は地方創生に相当程度効果があった。	理由 地域との繋がりを実感できる本市ならではのワーケーションプログラムを提供することで、SNS等での本市の情報発信や定期的に本市を訪れ、イベント等に参加する関係人口の創出を図ることができた。また、新たな観光需要の取込を目的として官民連携による取組が実施できたことは、今後の本市の持続可能な観光地域づくりの更なる推進につながるものとして評価できる。
実績値を踏まえた事業の今後について		
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由 引き続き、本市ならではのワーケーションプログラムを提供し、本市のファンの増加や継続的に関わってもらえる人材の発掘等に努める。また、ポストコロナ社会において、地域経済活動の活性化を目指し、新たな生活様式や旅行スタイルを踏まえながら、さらなる誘客、交流人口の拡大に取り組む。2025年の大阪・関西万博や翌年の大型観光キャンペーンの誘致開催を見据え、官民連携の更なる推進を図りながら、持続可能な観光地域づくりの取組を進める。

【令和4年度取組実績】

多様な主体が連携した「やまぐち創生テレワーク」×「山口型ワーケーション」 ×「地域づくり」の広域的・一体的な推進による移住・還流促進事業

●オーダーメイドワーケーションプログラム

山口市への移住やワーケーションを希望する県外在住者に、希望に沿えるオーダーメイド型の体験プログラムを提供し、移住の促進及び関係人口の創出を図った。(全9回、計25名参加)

日程	名称	体験内容(抜粋)	参加者数
6月8日～16日	南部エリアプログラム①	古代銭づくり、農業	4名
7月27日～31日	南部エリアプログラム②	歴史学習、SUP	2名
8月24日～28日	南部エリアプログラム③	ピクルスづくり、ヨット	4名
11月12日～20日	阿東地域プログラム	農業、バンブーバイク	1名
2月18日～21日	街なかエリアプログラム	檜皮葺、鷺流狂言、料理教室	2名
3月12日～13日	湯田温泉エリアプログラム①	大内塗、茶道、和菓子づくり	4名
3月15日～19日	徳地地域プログラム	森林セラピー、岸見の石風呂	4名
3月19日～20日	湯田温泉エリアプログラム②	大内塗、街並み散策	3名
3月26日～27日	湯田温泉エリアプログラム③	茶道、和菓子づくり	1名



●ワーケーション着地型体験プラン商品造成・予約システム開発運用

県内最大の宿泊拠点「湯田温泉」における更なる魅力向上に向け、コロナ禍で注目された新しい旅行形態を意識した商品造成に取組を支援した。

【取組内容】

①地域事業者と連携した体験・観光・交流等商品の企画

湯田温泉をはじめ、県内の事業者(10社程度)を対象に、ネット通販可能な商品を企画し、WEBでの販売に向けた調整を行った。

商品造成結果:9商品(6事業者)



【かめ福オンライン】



【狐の足あと】



【長州苑】



【長州苑】



【中村民芸社】



【ヤマトズギャラリー】



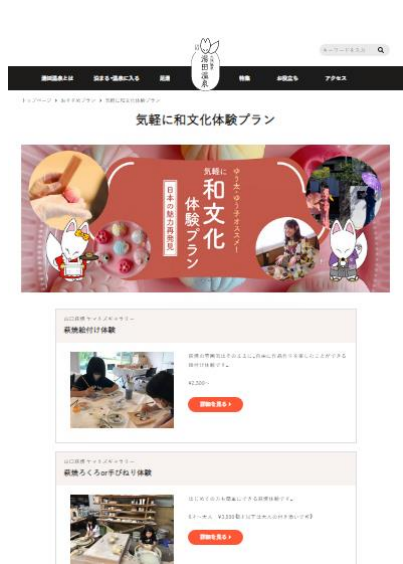
【ヤマトズギャラリー】



【LAWAKU】



【LAWAKU】



【湯田温泉 WEB サイト】



②湯田散策ガイド育成及び着地型体験プログラム造成

湯田温泉の観光価値の向上に向け、現地におけるガイドの役割が重要となることから、湯田の魅力伝えることができるガイドの募集、育成に取り組んだ。

研修会: 3月14日(火)

講師: LAWAKU 代表 酒向淳子氏

参加者: 4名(湯田温泉ガイドに関心のある方)



③湯田温泉に特化した SNS(Instagram)情報発信

湯田温泉の魅力発信に向け、湯田温泉に特化した情報発信に取り組んだ。

・テーマ: きつね散歩(湯田温泉や周辺の何気ない日常風景・スポットを配信)

・コンセプト: 湯田温泉・山口市の日常を配信

・ターゲット: 湯田温泉に関心のある方、湯田温泉周辺のお住まいの方

発信期間: 2月2日～20日(約1か月間)

発信内容: 9本(JR湯田温泉駅、井上公園、原田酒舗、湯田公園、白狐お猪口、山頭火通り、錦川通り)

湯田温泉特集

ぜひ立ち寄りたい観光スポット、湯田温泉トリビアなどを紹介します。



【旅の思い出ができる】#湯田温泉
体験



【宿泊先に迷ったらここ】#湯田温泉
おすすめプラン



【美肌になる温泉】#湯田温泉
スポット



きつねのポストを探せ
スポット



熱いぞ!湯田温泉スリッパ卓球
イベント・キャンペーン



ビジュアルで楽しむ源泉施設「温泉舎(ゆのや)」
スポット



●ワーケーションプラン調査・発信

県内最大の宿泊拠点「湯田温泉」の更なる魅力向上に向け、コロナ禍で生まれた新しい旅行形態を踏まえ、湯田温泉の資源を活用した観光価値の創出(健康づくり、ワーケーション、おもてなし等)への取組を支援した。

【取組内容】

①宿泊事業者ニーズ調査(ヒアリング調査)

湯田温泉旅館協同組合に加入している旅館・ホテルを対象に、SDGsやワーケーション等新たなサービス導入に関するヒアリング調査を実施。

ヒアリング調査:12 事業者

■SDGsについて

- ・施設によって取組状況に差は見られるが、「部屋にアメニティがあることは当たり前」というお客様の認識が高いことから、フロント周りを含めて、基本的な準備・設置している施設が多く見られる。
- ・プラスチック製のアメニティは、経営者によって考え方が異なること、また既存の仕入れ先との関係性やコスト面から導入を見送るケースが見られる。
- ・単独での取組は難しいと考えている施設が多い一方、組合全体でSDGsを推進していく場合の協力は、概ね前向きに捉えておられる。

■ワーケーション・テレワークについて

・これまで、ワーケーション・テレワークプランを提供した経験のある施設では、そこまで大きな反響は無かったという印象を受けている。

・旅館や大きなホテルでは、必要に応じて利用いただける会議室や機材等を準備している一方、ビジネスホテルでは、そうした機材等を自前で準備することは難しい。

■その他

・地元飲食店を巻き込んだプラン造成については、湯田温泉全体で取り組んでいきたい。

・定期的なイベントによる賑わい創出(例:白狐まつりの毎月開催など)について、賛同する声は多くなっている(人的余裕が無いため、物品貸出等の対応を検討している施設が多い)。

②温泉資源を活用したワーケーションプランの開発や既存体験プログラムとの連携・プロモーション

●①のヒアリング調査結果を踏まえたワーケーションプランの造成(4本)。

・松田屋ホテル

維新の叡智と英気を養う、館内巡りツアーセットプラン

・ホテル喜良久

温泉宿でとことんテレワークプラン

・ホテルニュータナカ

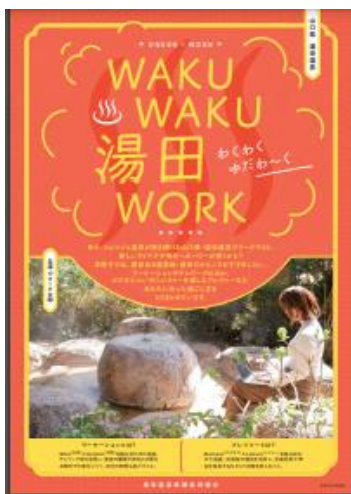
業績と羽を伸ばす、温泉宿でチームビルディングプラン

・ビジネスホテルうえの

温泉宿でおこもりステイ応援プラン

●造成したプログラムを中心に、湯田温泉でのワーケーションに特化した PR を実施。

特に、JR サイコロきっぷの目的地として「湯田温泉」が選定されたことを踏まえ、湯田温泉の説明や宿泊先情報、体験プログラムなど、計12の特集記事を作成、編集を行ったほか、福岡県で開催された「女子旅 EXPO2023」への参加を契機に、これまで無かった視点やトレンドを踏まえた女子旅の愉しみ方、過ごし方を提案する記事作成を行った。





《12の特集記事》



《女子旅特集記事》



阿知須地域活性化プロジェクト「道の駅きららあじす」整備計画

1 事業の概要

所管課	阿知須総合支所地域振興課	計画期間	令和4年4月 - 令和5年3月
交付金の種類	地方創生拠点整備交付金	単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)
政策目標	山口の魅力に磨きをかけ、新たな「ひと」の流れをつくる	政策目標	
具体的な施策	協働による「個性と安心の21地域づくり」	具体的な施策	
具体的な取組	中山間・南部地域の活力アップ～農山村の振興～	具体的な取組	
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>阿知須地域の交流拠点であり、地域経済を下支えする役割を担う道の駅「きらら あじす」において、レストラン・カフェ機能を備えた休憩機能、農産物・特産品販売機能及び情報発信機能の強化を行う。</p> <p>また、大型イベントが開催される山口きらら博記念公園等との連携強化による更なる誘客促進の取り組みを行うことで、新たな交流を創出し、道の駅の売上の向上を図り、農業をはじめとした地域経済の活性化と地域における新たな雇用の創出につなげる。</p>		<p>・道の駅「きらら あじす」について、レストラン棟の増築や、農産物・特産品直売所の売り場面積拡大、カフェ機能を備えた休憩コーナー新設などの整備を行う。</p> <p>・令和5年3月26日に、きらら浜全体を会場に「スポーツ・食・遊び」をテーマとして、きらら浜の各施設が連携したイベント「きららにぎわいフェスティバル」を開催。きらら浜全体で約22,000人の来場者を呼び込んだ。</p>	
事業の概要(経費内訳)			
<p>・道の駅「きらら あじす」機能強化推進事業 (355,400千円)</p>			

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1)KPIの達成状況

KPI項目	単位		事業開始前	実績値(増分) (令和4年度)	目標値(増分) (令和4年度)
① 道の駅「きらら あじす」の売上額	千円	-	304,052	25,527	0
② 道の駅「きらら あじす」の来場者数	人	-	517,620	26,982	0
③ 阿知須地域のイベント参加者数(阿知須浦まつり、ワイルド・パンチ・フェス、あじすふれあいまつり、きららにぎわいフェスティバル、阿知須ひなもんまつり)	人	-	2,217	53,783	70,000

(2)評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に非常に効果があった。	理由	道の駅「きらら あじす」の機能強化により、農産物・特産品直売所の売り場面積が拡大し、充実した商品が品揃えできるようになり、来場者の拡大につなげることができた。併せて、KPIを達成することができた。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	道の駅「きらら あじす」の機能強化により、道の駅の売上げ及び来場者数が、順調に推移していくことが見込まれるなか、今後、県において山口きらら博記念公園を交流拠点として整備されることから、県と連携を図りながら、新たな交流の創出と地域経済の活性化を図るため。

阿知須地域活性化プロジェクト「道の駅きらら あじす」整備計画の概要

<道の駅「きらら あじす」機能強化推進事業>

『道の駅「きらら あじす」魅力アップ事業計画』に基づき、道の駅「きらら あじす」の機能強化に向けた取組を行った。

●道の駅「きらら あじす」増築・改修工事

- ・地域の農産物や特産品を販売する特産物直売所は、売り場が狭く、特産品を陳列するスペースが少なかったことから、特産物直売所の改修を行い売り場面積を拡大することで、商品の陳列スペースを確保したほか、ユニバーサルデザインを考慮した通路幅とするなど機能強化を図った。
- ・情報コーナーが手狭であったことから情報コーナーを拡充し、山口きらら博記念公園など道の駅周辺施設の情報が発信できるよう情報発信機能を強化した。
- ・道の駅施設内に休憩コーナーがなかったことから、食事をとることが可能な休憩コーナーを整備したほか、新たにキッズコーナーを設けた。
- ・新たに増築した施設に、レストランを整備。



●「きららにぎわいフェスティバル」の開催

- ・道の駅「きらら あじす」をはじめとしたきらら浜にある5施設で連携して各施設の魅力を発信し、「スポーツ・食・遊び」をテーマとしたイベントを開催。イベント当日は、会場内に臨時バスを運行させ、きらら浜の周遊性の向上・交流の促進を図る取り組みを行った。

【開催日】令和5年3月26日

【開催場所】道の駅「きらら あじす」のほかきらら浜内の各施設
(山口きらら博記念公園、山口県立きらら浜自然観察公園、
アクティブテラスきららいず、TOTOMATO)

【来場者数】約22,000人

